

MARCH 2023

占冠村 個別施設計画

令和3年3月
(令和5年3月改訂)

占冠村



占冠村

目次

I	個別施設計画【公共施設】の概要	
1.	個別施設計画策定の背景と目的	1
2.	個別施設計画策定の範囲と計画期間	3
II	公共施設を取り巻く環境	
1.	将来の人口予測～占冠村人口ビジョンより	4
2.	本村の財政状況	5
3.	公共施設の現状	7
III	施設更新の基本方針	
1.	本村が目指すまちづくりの将来像	1 2
2.	「占冠村公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針	1 2
3.	施設分類毎の基本的な方針	1 5
IV	各施設の方針	
1.	対象施設の一覧	1 9
2.	本計画の組み立て	2 4
3.	村民文化系施設の方針	2 6
4.	スポーツ・レクリエーション系施設の方針	2 8
5.	産業系施設	3 3
6.	子育て支援施設	3 4
7.	保健・福祉施設の方針	3 5
8.	医療施設の方針	3 6
9.	行政系施設の方針	3 8
10.	公営住宅等の方針	4 0
11.	公園の方針	4 9
12.	供給処理施設の方針	5 0
13.	その他の方針	5 2
V	まとめ	
1.	10年後に実現を目指す本村の姿	5 4
2.	個別施設計画の達成による財政効果	5 5
3.	本計画の推進体制	5 7

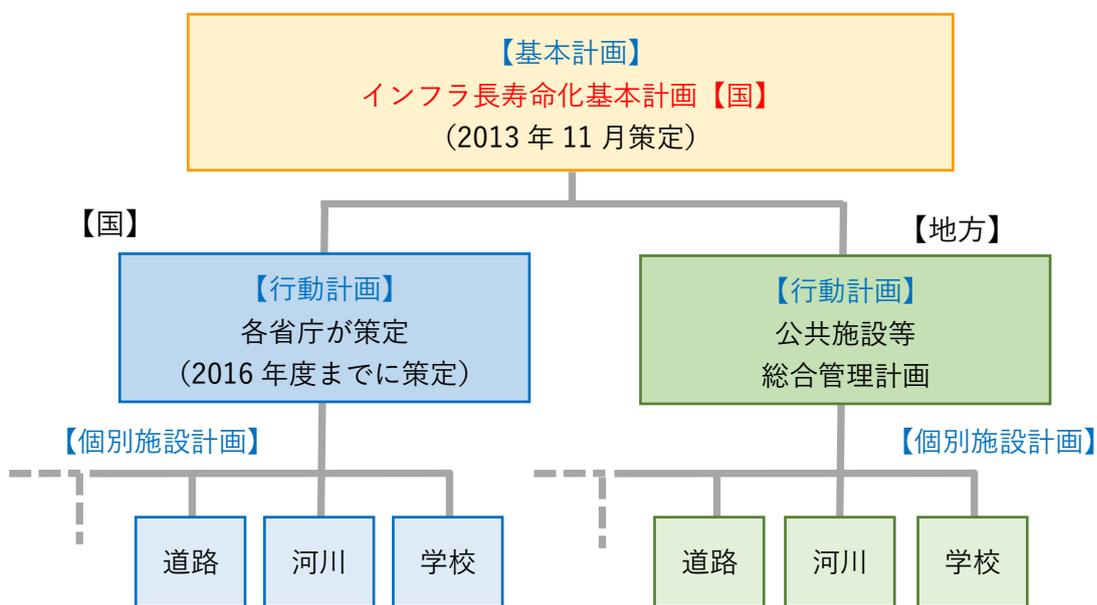
本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

1. 個別施設計画策定の背景と目的

(1) 個別施設計画策定の背景

全国的に高度経済成長期に整備した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来、一斉に更新時期を迎えようとしています。

国においては、2013年11月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別施設計画の策定を要請しています。



(参考：総務省 [インフラ長寿命化計画の体系])

本村で保有する公共施設は、1980年代に建設されたものが多いことから、老朽化が進行し近い将来、一斉に建て替え時期を迎えることになります。

それに対し、人口減少や少子高齢化の本格化に伴い、村税などの収入減少が見込まれる一方で、扶助費などが増加することで村の財政状況は大変厳しくなることが予測されます。

そのため、公共施設等を現状のまま維持、更新し続けることが困難となっており、適切な維持管理ができない状況を放置しておく、施設の荒廃や事故につながることを懸念されます。

(2) 個別施設計画策定の目的

このような背景から、本村における公共施設等の適正配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すべく、2017年2月に公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として「占冠村公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定しました。個別施設計画は、総合管理計画に基づき施設ごとの取組方針等を示すことを目的としています。

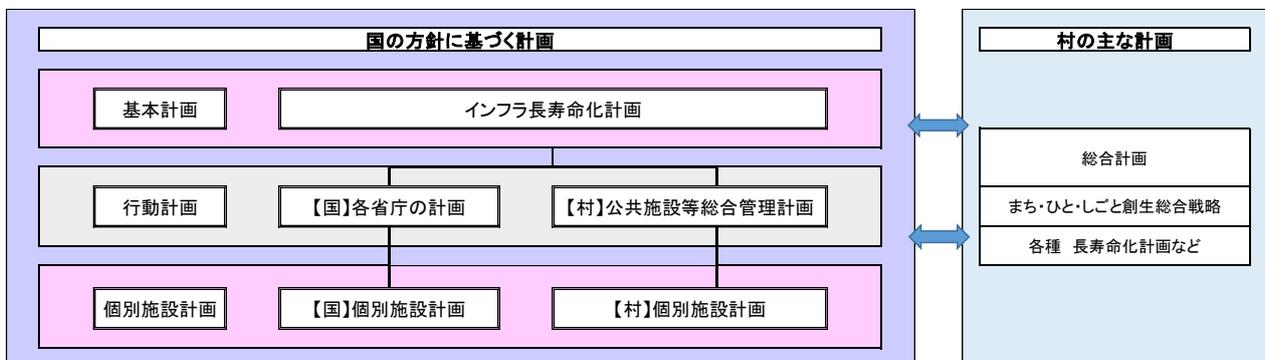
■主な検討項目

- 財政制約下での適正な資産更新（更新や統合・廃止等）
- 人口減少時代に伴う適正施設数の調整
- 既存施設の長寿命化工事による耐用年数の延長

(3) 個別施設計画とその他の計画との位置づけ

本村にはまちづくりの最上位に位置付けられる「占冠村総合計画」をはじめとする各種計画があり、本計画は、これらの計画との調和を図る必要があります。各種計画の全体像は、以下のとおりです。

■計画の全体像



2. 個別施設計画策定の範囲と計画期間

(1) 本計画における個別施設計画作成の範囲

本村ではこれまでに、本計画とは別に橋梁長寿命化修繕計画など個別施設計画（長寿命化計画）を策定しています。本計画はこれらと別に作成するものです。

また、上記以外のインフラ系施設については、別途国からの作成要請があるため、除外するものとします。上記を踏まえ、本計画は以下の分類に対して、計画の作成範囲とします。

■ 当該計画の該当範囲

施設分類名	主な施設
村民文化系施設	占冠地域交流館、双珠別住民センター、集会所、コミュニティプラザ
スポーツ・レクリエーション系施設	パークゴルフ場管理棟、スキー場ロッジ、村民プール脱衣所、民芸加工授産所、物産館、双民館、ニノウキャンプ場、湯の沢温泉、ミナ・トمام
産業系施設	ジビエ工房 森の恵み
子育て支援施設	占冠保育所、トمام保育所
保健・福祉施設	占冠村保健福祉センター（ノンノ）、占冠村小規模多機能型居宅介護施設（とま〜る）
医療施設	診療所、歯科診療所、診療所医師住宅
行政系施設	総合センター、役場トمام支所、トمامコミュニティセンター など
公営住宅等	村営住宅、村有住宅、住宅物置 など
公園	農村公園公衆便所
供給処理施設	一般廃棄物最終処分場、浄化センター、浄水場
その他	火葬場、テレビ中継局、トمام給油所、旧横川商店 など

(2) 計画期間

計画期間は、公共施設等総合管理計画に合わせて、2021年度から2025年度までの5年間とし、上位計画や関連する計画の策定・改訂状況や社会情勢の変化等に応じて、適宜見直しを図っていくこととします。

計画期間「5年間」

2021年度から2025年度まで

Ⅱ

公共施設を取り巻く環境

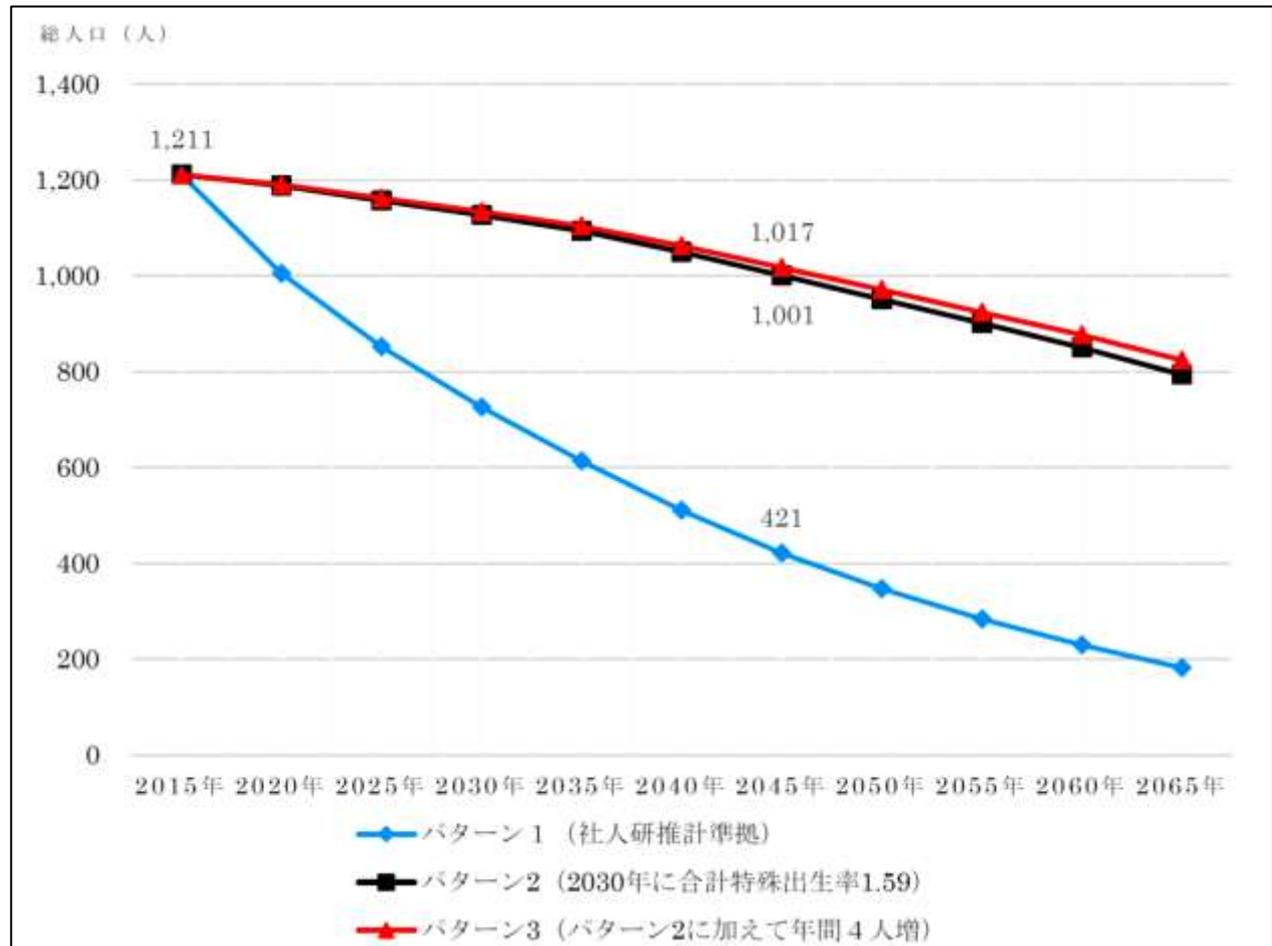
1. 将来の人口予測～占冠村人口ビジョンより

村独自推計では、社人研推計（パターン1）と比べ、2045年においてパターン2では580人多い1,001人、パターン3では596人多い1,017人になると見込まれています。村では、2045年までに人口の減少を抑え、社人研推計より596人多い1,017人を目指しています。

■占冠村 独自の人口推計 の仮定

パターン2	2030年までに占冠村の合計特殊出生率を希望出生率の1.59まで上昇させ、以降合計特殊出生率1.59を維持した上で、社会移動をゼロと仮定する。
パターン3	出生率についてはパターン2に準拠。社会移動については、社人研の移動率を使用した上で、毎年20～24歳の男性、女性が1名ずつ多く転入する（または転出を抑える）と仮定した。つまり、年間社人研データより年間2名（5年間で10名）多いものとする。

■総人口の推移（占冠村人口ビジョンより）



2.本村の財政状況

(1) 2012年度と2021年度の歳入歳出比較

10年前との歳入・歳出の比較は以下の通りです。

① 歳入は19.3%増加

地方税は52.7%増加、地方債は81.5%増加、国庫支出金は222.6%増加

② 歳出は20.3%増加

人件費は32.4%増加、扶助費は51.4%増加、投資的経費23.3%増加、維持補修費20.8%増加

■歳入歳出決算書

(単位：百万円、%)

		2012年度	2021年度	増減	2012年度対比	
歳入	一般財源	地方税	328	501	173	152.7%
		地方交付税	1,476	1,460	-16	98.9%
		その他	62	83	21	133.9%
		合計	1,866	2,044	178	109.5%
	地方債	265	481	216	181.5%	
	国庫支出金	53	171	118	322.6%	
	都道府県支出金	88	68	-20	77.3%	
	その他	313	321	8	102.6%	
	歳入合計	2,585	3,085	500	119.3%	
歳出	義務的経費	人件費	435	576	141	132.4%
		扶助費	70	106	36	151.4%
		公債費	258	462	204	179.1%
		合計	763	1,144	381	149.9%
	投資的経費	553	682	129	123.3%	
	物件費	409	414	5	101.2%	
	維持補修費	77	93	16	120.8%	
	その他	710	689	-21	97.0%	
歳出合計	2,512	3,022	510	120.3%		

(2) 地方交付税の推移

次に、地方交付税等をみてみます。

過去 10 年間、地方税は 173 百万円増加し、地方交付税は 16 百万円減少、その他（地方譲与税等）は 21 百万円増加しています。

■年度別地方交付税等の推移

（単位：百万円）

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
地方税	328	327	332	328	349	353	403	432	232	501
地方交付税	1,476	1,465	1,297	1,374	1,319	1,265	1,198	1,154	1,249	1,460
その他	62	61	57	70	64	65	65	64	73	83
合計	1,866	1,853	1,686	1,772	1,732	1,683	1,666	1,650	1,554	2,044

(3) 地方債残高の推移

地方債残高はやや増加しています。2012 年度の 2,845 百万円が、2021 年度では 3,000 百万円と 155 百万円増加しています。

住民一人当たりの地方債残高をみると、2012 年度の 2,375 千円が、2021 年度では 2,441 千円と 66 千円増加しています。

■年度別地方債残高の推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
人口（人）	1,198	1,220	1,218	1,242	1,258	1,450	1,508	1,613	1,315	1,229
地方債残高 （百万円）	2,845	3,003	3,137	3,106	3,094	2,987	2,817	2,996	2,973	3,000
増減 （百万円）	-	158	134	-31	-12	-107	-170	179	-23	27
一人当たり 残高(千円)	2,375	2,461	2,576	2,501	2,459	2,060	1,868	1,857	2,261	2,441

3. 公共施設の現状

(1) 2021 年度末における公共施設の概要

■2022 年 3 月 31 日現在の施設分類別棟数と総面積

施設分類名	～1969 年度	1970～ 1979	1980～ 1989	1990～ 1999	2000～ 2009	2010～ 2019	合計 (棟)	総面積 (㎡)
村民文化系施設	1	0	3	1	0	0	5	2,825.59
スポーツ・ レクリエーション系施設	8	3	12	0	2	1	26	3,820.38
産業系施設	0	0	0	0	0	1	1	151.00
子育て支援施設	0	0	0	1	0	1	2	1,037.88
保健・福祉施設	0	0	0	0	1	1	2	1,814.00
医療施設	0	0	1	2	3	0	6	1,129.21
行政系施設	0	1	2	2	0	0	5	4,767.54
公営住宅等	0	12	38	19	0	1	70	16,010.12
公園	0	0	0	1	0	0	1	62.00
供給処理施設	1	0	4	5	0	0	10	899.50
その他	0	4	2	0	0	2	8	540.07
合計	10	20	62	31	6	7	136	33,057.29

これまでに、本村では人口増加や行政需要に対応して、学校、庁舎、村営住宅などの公共施設や道路、橋梁、上下水道などのインフラ系施設を建設し、村民の生活基盤、地域コミュニティの拠点などとして大きな役割を果たしてきました。

現在、本村にある公共施設で、個別施設計画の対象に設定した施設数は 136 施設ですが、年度別に取得棟数をみると 1980～1989 年度の取得施設が最も多く、62 施設、次いで 1990～1999 年度が 31 施設、1970～1979 年度が 20 施設となっています。

(2) 過去の人口推移と投資実績

■過去の投資実績

	～1969 年度	1970～ 79年度	1980～ 89年度	1990～ 99年度	2000～ 09年度	2010～ 19年度	合計
人口※	3,306	1,804	2,097	2,104	1,819	1,211	-
投資額（千円）	291,480	639,043	1,167,945	2,023,178	170,804	284,751	4,577,201
住民一人当たりの 投資額（千円）	88	354	557	962	94	235	-
建築面積（㎡）	2,273.70	4,544.81	10,753.27	11,902.51	1,197.35	2,385.65	33,057.29
住民一人当たりの 建物面積（㎡）	0.69	2.52	5.13	5.66	0.66	1.97	-

※1965年度、1975年度、1985年度、1995年度、2005年度、2015年度の人口数を記載

対象施設におけるこれまでの投資額は総額約4,577,201千円です。

年度別にみると、1990～1999年度が最も多く2,023,178千円、次いで1980～1989年度の1,167,945千円となっています。

今後、人口が減少すると、地方債の償還や維持補修等のコスト負担は重くのしかかってくることとなります。

(3) 施設別の利用者数と1人当たりのコスト

利用人数が把握できる施設について、2011年度から2020年度分における平均年間延べ利用人数と、維持管理コストが判明している施設の利用者一人当たりのコストを分析しました（維持管理コストには2011年度から2020年度分における修繕費用を含みます）。

■施設別年間利用者数と利用者一人当たりのコスト

分類	施設名称	維持管理 コスト (千円)	延べ年間 利用人数	1人当り コスト (円)
村民文化系施設	コミュニティプラザ	6,662	12,764	522
スポーツ・ レクリエーション系施設	スキー場ロッジ	2,579	16,935	152
スポーツ・ レクリエーション系施設	村民プール脱衣所	1,055	912	1,157
スポーツ・ レクリエーション系施設	物産館	3,946	38,257	103
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（研修棟）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（交流室）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（展示室）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（宿泊所1）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（宿泊所2）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（宿泊所3）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（物置）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	双民館（倉庫）	1,492	377	3,958
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニノウキャンプ場（炊事場）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニノウキャンプ場（休憩所1）	8,736	3,439	2,540

分類	施設名称	維持管理 コスト (千円)	延べ年間 利用人数	1人当り コスト (円)
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（休憩所2）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（休憩所3）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（休憩所4）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（休憩所5）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（休憩所6）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（休憩所7）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（休憩所8）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	ニニウキャンプ場（便所）	8,736	3,439	2,540
スポーツ・ レクリエーション系施設	湯の沢温泉	21,790	9,657	2,256
スポーツ・ レクリエーション系施設	湯の沢温泉（宿泊施設）	78	1,407	55
スポーツ・ レクリエーション系施設	ミナ・トマム	2,135	3,289	649
産業系施設	ジビエ工房 森の恵み	2,100	3,290	638
子育て支援施設	占冠保育所	2,218	19	116,737
子育て支援施設	トマム保育所	1,437	7	205,286
保健・福祉施設	占冠村保健福祉センター（ノンノ）	3,377	1,512	2,233
保健・福祉施設	占冠村小規模多機能型居宅介護施設 （とま〜る）	2,928	4,357	672
医療施設	村立占冠診療所	1,593	2,514	634
医療施設	村立トマム診療所	1,610	710	2,268
医療施設	占冠歯科診療所	1,206	1,605	752
医療施設	トマム歯科診療所	436	244	1,788
行政系施設	役場トマム支所	1,631	2,475	659
行政系施設	生活情報センターホール	17,695	439,066	40
行政系施設	富良野広域連合富良野消防署占冠支署	2,368	182	13,011

分類	施設名称	維持管理 コスト (千円)	延べ年間 利用人数	1人当り コスト (円)
供給処理施設	中央浄化センター（下水道施設）	9,584	574	16,697
供給処理施設	トマム浄化センター	9,508	250	38,032
その他	火葬場	557	177	3,147
その他	トマム給油所	8,416	1,706	4,933
その他	総合自動車車庫（大）	525	1,092	481
その他	総合自動車車庫（小）	525	1,092	481

1. 本村が目指すまちづくりの将来像

本村におけるまちづくりのテーマは、「住む人の幸せを最大化するまちづくり」です。

ここに住む人々の幸せを最大化することを目標に、各種の政策を推進し、「生まれて良かった」「育って良かった」「暮らして良かった」そして住み続けたいと思える村づくりを目指します。

2. 「占冠村公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針

占冠村公共施設等総合管理計画では、公共施設に関する基本方針を定めており、施設の特性に応じた、総合的かつ計画的な管理運営を推進することで、将来の更新費用の削減を目指します。

■公共施設等の管理に関する基本的な考え方

○新規整備について

- ・新規の建物建設を予定した場合には、村の総合計画等各計画と合わせて、建物建設を検討します。
- ・施設の新設を行う場合は、村民ニーズ、建設コスト、管理運営、維持改修、解体、更新等に係るライフサイクルコストと、管理手法等について検討します。併せて、他施設の機能移転・代替、複合化等を検討します。
- ・建物建設の際には、複合化等によって延床面積を減らしていくことを検討します。

○施設の更新（建て替え）について

- ・施設の統合・整理や遊休地の活用を積極的に図り、施設の複合化などによって、住民サービスを維持しつつ、施設総量を縮減します。
- ・複合施設においては、管理・運営を一元化・効率化し、施設の複合化により空いた土地は、有効活用又は処分を促進します。
- ・施設更新の際には、本村の森林資源の有効活用を行う目的で、薪ボイラー、薪ストーブの導入を検討します。

○施設総量（総床面積）について

- ・機能移転が可能な施設や用途が重複している施設等（道の駅・物産館、公民館・集会所等）については、住民サービスを考慮しながら統合や整理を検討します。
- ・稼働率の低い施設は運営改善を徹底し、それでもなお稼働率が低い場合は、統合や整理も検討します。

○将来的な取り組みについて

- ・施設やインフラの改修・更新及び管理・運営コストの縮減を目的として、必要に応じてPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）／PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ：建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用）など、民間の力の活用を促進しながら公共施設を維持しつつ、改修・更新コスト及び管理運営コストの縮減を検討します。

※PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）とは事業の企画段階から民間事業者が参加するなど、より幅広い範囲を民間に任せる手法です。

※PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ：建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用）とは国や地方自治体が基本的な事業計画をつくり、資金やノウハウを提供する民間事業者を入札などで募る方法です。

■実施方針

○点検・診断等の実施方針

①点検・保守

- ・建物は、数多くの部品・部材や設備機器など様々な素材が組み合わされて構成されています。これらの部材、設備機器は、使い方や環境及び経年変化から本来の機能を低下させていきます。
- ・建物を維持管理するための日常の点検・保守によって、建物の劣化及び機能低下を防ぎ、建物をいつまでも美しく使っていくための総合的な管理運営や実際の点検・保守・整備などの業務を行います。

②施設の診断

- ・「公共施設診断の対象となる評価項目」を参考とし、本村で必要とする品質・性能が把握できる評価項目について、簡易な診断に努めます。
- ・建物を更新することなく長期間有効に活用するためには、建築の基本性能を、現在の利用目的に合致した最適な状態に維持することが必要です。そのためにも、内装や設備に関しては計画的に保全します。
- ・施設の長期修繕についての計画策定にあたっては、統廃合や複合化に関する村の推進方針との整合を図ります。

○安全確保の実施方針

- ・公共施設における安全確保は、利用者の安全を確保するだけでなく、資産や情報の保全もその目的の一つです。また万一の災害に遭遇したときには、被害を最小限にとどめ、速やかに復旧する体制を平時から整えるための備えも求められています。施設の安全性及び耐用性の観点から、敷地安全性、建物安全性、火災安全性、生活環境安全性に係る安全確保に努めます。

○耐震化の実施方針

- ・本村では村の既存建築物についても順次耐震診断を行っています。耐震改修と耐震補強の必要な主要な建築物について、必要に応じ順次耐震補強工事等を実施しており、特に利用率や効用等の高い施設については、重点的に対応しています。
- ・村有建築物は、平常時における村民利用の安全性はもとより、災害時の拠点施設としての機能保持の観点からも耐震性の確保が強く求められているため、今後も保全状態や将来的な利用方針を検討した上で、耐震改修に必要な整備プログラムをまとめ、計画的・効率的な耐震化を進めます。

○長寿命化の実施方針

- ・点検・保守・修繕、清掃・廃棄物管理を計画的にきめ細かく行い、公共施設等を良好な状況に保ち、更に定期的な施設診断によって、小規模改修工事を行って不具合箇所を是正する「総合的かつ計画的な管理」に基づいた予防保全を行うことにより、公共施設等の長期使用を図ります。

○統合や廃止の推進方針

- ・施設の統廃合にあたっては、新たな施設が本村の拠点として備えるべき機能や設備、望ましい設置場所といった多面的な観点から検討し、機能強化を前提とした複合化を進めます。
- ・近隣自治体との連携による施設の共用化や、民間施設の利活用による新たな建設や建て替えに頼らないサービス提供の可能性を含め、幅広く検討する環境づくりを目指します。
- ・遊休施設の活用及び今後使用が休止になる可能性のある建物については、施設の特性を生かし機能を維持した転用をできるだけ速やかに進められるよう、民間団体や地区との協議を行います。

3. 施設分類毎の基本的な方針

(1) 村民文化系施設

施設の状況を的確に把握し管理するため、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行える環境を構築します。

老朽化が進んだ施設は、施設コストが増えることが予想されますが、予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ります。

(2) スポーツ・レクリエーション系施設

修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図り、引き続き指定管理または委託にてコストダウンを図ります。

(3) 産業系施設

施設の状況を的確に把握し管理するため、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

(4) 子育て支援施設

占冠保育所については、2019年度に新築した新しい施設で、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。

トナム保育所についても、継続的に施設の状況を把握した上で、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。

(5) 保健・福祉施設

建設後の経過年数を考慮すると、予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ることが基本方針になります。また、利用者のニーズや施設の用途に応じた改修を検討していくことによって、地域の活性化につながる施設の有効活用を実現することも一つの方向性と考えられます。

(6) 医療施設

建設後の経過年数を考慮すると、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施していくことが基本方針となります。そのために、修繕履歴データを蓄積すること等によって、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

(7) 行政系施設

総合センターは老朽化が進んでいることと耐震化がされていないことから、大規模改修あるいは建て替えの対応を検討します。なお、具体的な対応が実施されるまでは、施設コストを抑えるために予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ります。

トナムコミュニティセンターについても修繕が必要となっておりますが、そのためには施設の状況を的確に把握し、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。さらに、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

(8) 公営住宅等

現在使用されていない公営住宅等は取壊しを検討します。また、村有住宅など民間に賃貸している施設は、将来的には売却を検討しています。

一方で、老朽化が進んだ団地に関して建替えを進めるとともに、建物の状況に応じて外壁の修繕などの改修を行うことが基本的な方針となります。適切な修繕・改修のためには、施設の状況を的確に把握し、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

(9) 公園

施設の状況を的確に把握し管理するため、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

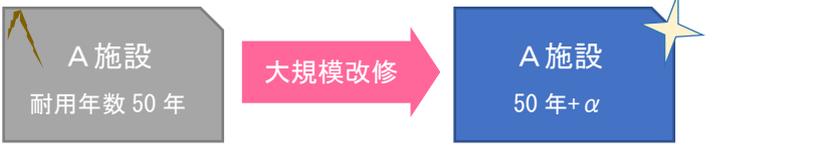
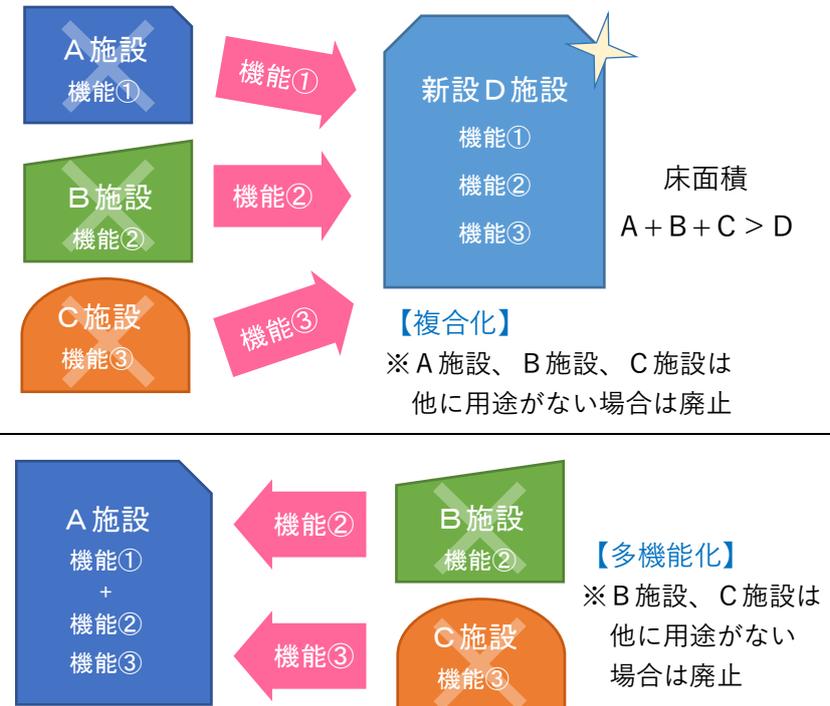
(10) 供給処理施設

施設の状況を的確に把握し管理するため、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

(11) その他

施設の状況を的確に把握し管理するため、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行います。

■個別施設 更新・長寿命化・統廃合等のイメージ

取組方法	取組のイメージ
<p>①更新 老朽化が進んだ施設を建て替えること。原則として、床面積は縮小する。</p>	 <p>A施設 機能① → 建替え → 新A施設 機能①</p> <p>床面積 $A > \text{新}A$</p>
<p>②長寿命化 耐用年数を超えて使用できるよう大規模改修すること。</p>	 <p>A施設 耐用年数 50年 → 大規模改修 → A施設 50年+α</p>
<p>③複合化・多機能化 一つの施設の異なる複数の機能を保有させることにより、運用や維持管理の効率化を図ること。 複数の機能を保有した施設を新設する方法と既存の施設に機能を移管する方法がある。施設を新設する場合は、複合化する施設の床面積の合計より縮小することを原則としている。</p>	 <p>A施設 機能① → 機能① → 新設D施設 機能① B施設 機能② → 機能② → 機能② C施設 機能③ → 機能③ → 機能③</p> <p>床面積 $A + B + C > D$</p> <p>【複合化】 ※ A施設、B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止</p> <p>【多機能化】 ※ B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止</p>
<p>④統廃合 余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより、保有量を最適化すること。</p>	 <p>A施設 機能① ← 機能① ← B施設 機能①</p> <p>※ 余剰 B施設は他に用途がない場合は廃止</p>
<p>⑤用途変更 機能を廃止し、新たな機能を保有させること。</p>	 <p>A施設 機能① → 機能①⇒機能② → A施設 機能②</p>
<p>⑥譲渡 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。</p>	 <p>公共 A施設 → 譲渡 → 民間 A施設</p>

IV

各施設の方針

1. 対象施設の一覧

本計画の対象とする公共施設は以下のとおり 136 施設となります。なお、面積は 2022 年 3 月現在の延床面積です。

施設分類	No.	施設名	面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数
村民文化系施設	1	占冠地域交流館	1,182.00	1965	50
村民文化系施設	2	双珠別住民センター	169.59	1980	22
村民文化系施設	3	川添団地集会所	70.00	1985	47
村民文化系施設	4	美園地区集会所	70.00	1988	47
村民文化系施設	5	コミュニティプラザ	1,334.00	1995	50
スポーツ・ レクリエーション系施設	6	パークゴルフ場管理棟	21.00	2002	24
スポーツ・ レクリエーション系施設	7	スキー場ロッジ	59.00	2003	15
スポーツ・ レクリエーション系施設	8	村民プール脱衣所	60.00	1970	22
スポーツ・ レクリエーション系施設	9	民芸加工授産所	192.78	1973	38
スポーツ・ レクリエーション系施設	10	物産館	753.36	1982	19
スポーツ・ レクリエーション系施設	11	双民館（研修棟）	353.00	1957	38
スポーツ・ レクリエーション系施設	12	双民館（交流室）	182.00	1957	47
スポーツ・ レクリエーション系施設	13	双民館（展示室）	189.00	1957	50
スポーツ・ レクリエーション系施設	14	双民館（宿泊所 1）	66.00	1957	22
スポーツ・ レクリエーション系施設	15	双民館（宿泊所 2）	102.00	1957	22
スポーツ・ レクリエーション系施設	16	双民館（宿泊所 3）	62.00	1957	22
スポーツ・ レクリエーション系施設	17	双民館（物置）	9.00	1957	24

施設分類	No.	施設名	面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数
スポーツ・ レクリエーション系施設	18	双民館（倉庫）	19.00	1957	15
スポーツ・ レクリエーション系施設	19	ニニウキャンプ場（炊事場）	29.16	1985	15
スポーツ・ レクリエーション系施設	20	ニニウキャンプ場（休憩所1）	145.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	21	ニニウキャンプ場（休憩所2）	53.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	22	ニニウキャンプ場（休憩所3）	53.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	23	ニニウキャンプ場（休憩所4）	53.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	24	ニニウキャンプ場（休憩所5）	11.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	25	ニニウキャンプ場（休憩所6）	11.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	26	ニニウキャンプ場（休憩所7）	11.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	27	ニニウキャンプ場（休憩所8）	11.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	28	ニニウキャンプ場（便所）	24.00	1985	17
スポーツ・ レクリエーション系施設	29	湯の沢温泉	594.54	1978	22
スポーツ・ レクリエーション系施設	30	湯の沢温泉（宿泊施設）	524.88	1980	22
スポーツ・ レクリエーション系施設	31	ミナ・トマム	231.66	2015	20
産業系施設	32	ジビエ工房 森の恵み	231.66	2015	20
子育て支援施設	33	占冠保育所	621.92	2019	22
子育て支援施設	34	トマム保育所	415.96	1993	34
保健・福祉施設	35	占冠村保健福祉センター（ノンノ）	614.00	2002	50
保健・福祉施設	36	占冠村小規模多機能型居宅介護施設 （とま〜る）	1,200.00	2015	50
医療施設	37	村立占冠診療所	333.45	2008	34
医療施設	38	村立トマム診療所	377.94	1990	22

施設分類	No.	施設名	面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数
医療施設	39	占冠歯科診療所	170.92	1988	29
医療施設	40	トマム歯科診療所	97.00	2003	39
医療施設	41	村立占冠診療所医師住宅	72.90	2008	22
医療施設	42	村立トマム診療所医師住宅	77.00	1990	22
行政系施設	43	総合センター	1,414.51	1971	50
行政系施設	44	役場トマム支所	141.58	1987	41
行政系施設	45	トマムコミュニティセンター	1,171.42	1987	41
行政系施設	46	生活情報センターホール	917.00	1995	38
行政系施設	47	富良野広域連合富良野消防署占冠支署	1,123.03	1991	50
公営住宅等	48	川添団地 (NO.5~8)	184.64	1974	38
公営住宅等	49	川添団地 (NO.9~12)	192.91	1975	38
公営住宅等	50	川添団地 (NO.13~16)	192.91	1975	38
公営住宅等	51	川添団地 (NO.17~20)	205.20	1976	38
公営住宅等	52	川添団地 (NO.21~24)	220.60	1976	38
公営住宅等	53	川添団地 (NO.25~26)	118.20	1979	38
公営住宅等	54	川添団地 (NO.27~28)	125.98	1980	38
公営住宅等	55	川添団地 (NO.29~30)	127.40	1984	38
公営住宅等	56	川添団地 (NO.31~32)	127.40	1985	38
公営住宅等	57	宮下 B 団地 (NO.1~4)	166.04	1971	38
公営住宅等	58	宮下 B 団地 (NO.5~8)	166.04	1971	38
公営住宅等	59	千歳団地 (NO.1~4)	254.80	1985	38
公営住宅等	60	千歳団地 (NO.5~6)	128.80	1986	38
公営住宅等	61	千歳団地 (NO.7~8)	128.80	1986	38
公営住宅等	62	第 2 千歳団地 (NO.1~4)	302.80	1980	47
公営住宅等	63	第 2 千歳団地 (NO.5~8)	302.80	1980	47
公営住宅等	64	第 2 千歳団地 (NO.9~12)	302.80	1980	47
公営住宅等	65	第 2 千歳団地 (NO.13~16)	302.80	1980	47
公営住宅等	66	第 2 美園団地 (NO.1~2)	140.14	1989	22
公営住宅等	67	第 2 美園団地 (NO.3~4)	133.66	1989	22
公営住宅等	68	第 2 美園団地 (NO.5~6)	140.28	1990	22
公営住宅等	69	第 2 美園団地 (NO.7~8)	133.80	1990	22
公営住宅等	70	第 2 美園団地 (NO.9~10)	133.78	1991	22
公営住宅等	71	第 2 美園団地 (NO.11~12)	133.78	1991	22
公営住宅等	72	第 2 美園団地 (NO.13~14)	140.26	1992	22
公営住宅等	73	第 2 美園団地 (NO.15~16)	133.78	1992	22
公営住宅等	74	占冠団地 (NO.9~12)	227.04	1978	38

施設分類	No.	施設名	面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数
公営住宅等	75	占冠団地 (NO.13~14)	140.14	1989	22
公営住宅等	76	占冠団地 (NO.15~16)	135.28	1989	22
公営住宅等	77	占冠団地 (NO.17~18)	135.28	1989	22
公営住宅等	78	占冠団地 (NO.19~20)	135.28	1989	22
公営住宅等	79	湯の沢団地 (NO.1~2)	118.20	1979	38
公営住宅等	80	湯の沢団地 (NO.3~4)	118.20	1979	38
公営住宅等	81	トマム団地 (NO.1~4) (村有住宅)	254.80	1983	38
公営住宅等	82	トマム団地 (NO.5~8)	254.80	1983	38
公営住宅等	83	トマム団地 (NO.9~12)	254.80	1984	38
公営住宅等	84	トマム団地 (NO.13~16)	254.80	1984	38
公営住宅等	85	第2トマム団地 (NO.1~4)	254.80	1985	22
公営住宅等	86	第2トマム団地 (NO.5~8) (村有住宅)	254.80	1985	22
公営住宅等	87	第2トマム団地 (NO.9~10)	127.40	1985	34
公営住宅等	88	第2トマム団地 (NO.11~12)	127.40	1986	38
公営住宅等	89	第2トマム団地 (NO.13~14)	128.80	1986	38
公営住宅等	90	第2トマム団地 (NO.15~16)	128.80	1986	38
公営住宅等	91	第2トマム団地 (NO.17~18)	133.66	1986	38
公営住宅等	92	第2トマム団地 (NO.19~20)	133.66	1986	38
公営住宅等	93	第2トマム団地 (NO.21~22)	133.66	1987	22
公営住宅等	94	第2トマム団地 (NO.23~24)	133.66	1987	22
公営住宅等	95	第2トマム団地 (NO.25~26)	128.80	1987	22
公営住宅等	96	第2トマム団地 (NO.27~28)	128.80	1987	22
公営住宅等	97	第2トマム団地 (NO.29~30)	140.14	1988	22
公営住宅等	98	第2トマム団地 (NO.31~32)	140.14	1988	22
公営住宅等	99	第2トマム団地 (NO.33~34)	135.28	1988	22
公営住宅等	100	第2トマム団地 (NO.35~36)	135.28	1988	22
公営住宅等	101	第2トマム団地 (NO.37~40)	314.32	1989	22
公営住宅等	102	第2トマム団地 (NO.41~44)	304.60	1989	22
公営住宅等	103	第2トマム団地 (NO.45~46)	140.28	1990	22
公営住宅等	104	第2トマム団地 (NO.47~48)	140.28	1990	22
公営住宅等	105	第2トマム団地 (NO.49~50)	133.80	1990	22
公営住宅等	106	第2トマム団地 (NO.51~52)	133.80	1990	22
公営住宅等	107	第3トマム団地 (NO.1~4)	275.76	1991	47
公営住宅等	108	第3トマム団地 (NO.5~8)	297.04	1992	38
公営住宅等	109	中央団地 A 棟 (NO.1~6)	559.94	1990	47
公営住宅等	110	中央団地 B・C 棟 (NO.7~18)	1,092.20	1991	47

施設分類	No.	施設名	面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数
公営住宅等	111	中央団地 D・E 棟 (NO.19~30)	1,096.24	1992	47
公営住宅等	112	第 2 中央団地 (NO.1~8)	604.16	1993	38
公営住宅等	113	第 2 中央団地 (物置)	9.00	1993	22
公営住宅等	114	第 2 中央団地 (物置)	9.00	1993	22
公営住宅等	115	占冠団地倉庫 (NO.9~12)	18.00	1978	24
公営住宅等	116	車庫 (ガレージ)	16.00	2012	31
公営住宅等	117	地域振興住宅楓 A 棟	1,831.60	2016	50
公園	118	農村公園公衆便所	62.00	1999	38
供給処理施設	119	一般廃棄物最終処分場	128.00	1993	31
供給処理施設	120	中央浄化センター (下水道施設)	112.00	1989	15
供給処理施設	121	トマム浄化センター	126.00	1997	15
供給処理施設	122	双珠別浄水場	97.00	1996	38
供給処理施設	123	占冠浄水場 (水道施設 1)	109.70	1966	34
供給処理施設	124	占冠浄水場 (水道施設 2)	8.80	1993	34
供給処理施設	125	占冠浄水場 (水道施設 3)	97.00	1993	34
供給処理施設	126	上トマム地区浄水場 (水道施設)	157.00	1986	15
供給処理施設	127	上トマム地区浄水場 (揚水場 1)	48.00	1986	15
供給処理施設	128	上トマム地区浄水場 (揚水場 2)	16.00	1987	15
その他	129	火葬場	70.00	1970	22
その他	130	テレビ中継局	8.00	1977	38
その他	131	トマム給油所	24.30	2016	31
その他	132	旧横川商店	140.77	2016	22
その他	133	川添公衆便所	8.00	1986	34
その他	134	上トマム公衆便所	12.00	1985	15
その他	135	総合自動車車庫 (大)	224.00	1971	31
その他	136	総合自動車車庫 (小)	53.00	1971	31

2. 本計画の組み立て

各公共施設の方針に記載している各項目の見方は以下の通りとなります。

(1) 施設別状況

- ・ 構造
- ・ 耐震（診断/補強）

新耐震基準に適合しているかを示した指標。

1981年（昭和56年）以前に建築した建物については診断実施の有無と耐震が不足する場合は補強の有無を示しています。

1982年（昭和57年）以後に建築した建物は新耐震基準に適合しているため診断及び補強は「不要」と記載しています。

- ・ 躯体性能・劣化度状況

A：特に措置を要しない

B：軽微な対応を要するまたは引き続き観察を続ける

C：精密調査を要する

D：補修改善を要する

(2) 主要施設の役割

主要な施設の機能や役割について記載しています。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

施設の利用状況や維持管理コストについて記載しています。2011年度から2020年度分における平均年間延べ利用人数、維持管理コスト（修繕費用を含む）を記載しています。

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

再取得・長寿命化コストの試算については、以下の算定基準により算出しています。

また、取得年度と耐用年数により、更新時期を明記しています。

・更新、大規模改修単価

施設分類	更新（建替え）	大規模改修（長寿命化）
村民文化系施設、産業系施設、医療施設、行政系施設	40万円/㎡	25万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、供給処理施設、その他	36万円/㎡	20万円/㎡
子育て支援施設、公園	33万円/㎡	17万円/㎡
公営住宅等	28万円/㎡	17万円/㎡

(総務省の公共施設等更新費用試算ソフトから)

(5) 施設の具体的な方向性・対策

計画には、それぞれの対策（更新・長寿命化・廃止等）を記載しています。

3. 村民文化系施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
1	占冠地域交流館	鉄筋コンクリート造	1965	50	56	未実施	未実施	A	A	A	A
2	双珠別住民センター	木造モルタル	1980	22	41	未実施	未実施	A	A	A	A
3	川添団地集会所	鉄筋コンクリート造	1985	47	36	不要	不要	A	A	A	A
4	美園地区集会所	鉄筋コンクリート造	1988	47	33	不要	不要	A	A	A	A
5	コミュニティプラザ	鉄筋コンクリート造	1995	50	26	不要	不要	A	A	B	A

(2) 主要施設の役割

【占冠地域交流館】

占冠地域交流館は、旧占冠小学校を有効活用し、地域住民の活動支援及び青少年育成を目的として設置された施設です。

【コミュニティプラザ】

コミュニティプラザは、占冠村民の文化活動を推進し、明るく住み良い地域社会づくりをすすめるための施設です。

多目的ホール、和室、会議室、調理実習室、公民館（中央）図書室などがあります。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
1	占冠地域交流館	—	1,145
2	双珠別住民センター	—	1,441
3	川添団地集会所	—	201
4	美園地区集会所	—	222
5	コミュニティプラザ	12,764	6,662

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格 (千円)	再取得単価 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
1	占冠地域交流館	2015	159,570	400	472,800	250	295,500
2	双珠別住民センター	2002	15,263	400	67,836	250	42,398
3	川添団地集会所	2032	10,850	400	28,000	250	17,500
4	美園地区集会所	2035	10,850	400	28,000	250	17,500
5	コミュニティプラザ	2045	240,120	400	533,600	250	333,500
合計			436,653		1,130,236		706,398

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	占冠地域交流館	維持	1985年度に取得し2015年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
2	双珠別住民センター	維持	1980年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
3	川添団地集会所	維持	1985年度に取得し2032年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
4	美園地区集会所	維持	1988年度に取得し2035年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
5	コミュニティプラザ	維持	1995年度に取得し2045年度に更新時期を迎えます。外壁に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				

4. スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
6	パークゴルフ場管理棟	木造	2002	24	19	不要	不要	A	A	A	A
7	スキー場ロッジ	木造	2003	15	18	不要	不要	A	A	A	A
8	村民プール脱衣所	木造	1970	22	51	未実施	未実施	A	A	B	B
9	民芸加工授産所	コンクリートブロック造	1973	38	48	不要	不要	A	A	A	A
10	物産館	軽量鉄骨造	1982	19	39	不要	不要	A	A	A	A
11	双民館(研修棟)	鉄筋コンクリート造	1957	38	64	未実施	未実施	A	A	A	A
12	双民館(交流室)	鉄筋コンクリート造	1957	47	64	未実施	未実施	A	A	A	A
13	双民館(展示室)	鉄筋コンクリート造	1957	50	64	未実施	未実施	A	A	A	A
14	双民館(宿泊所1)	木造	1957	22	64	未実施	未実施	A	A	A	A
15	双民館(宿泊所2)	木造	1957	22	64	未実施	未実施	A	A	A	A
16	双民館(宿泊所3)	木造	1957	22	64	未実施	未実施	A	A	A	A
17	双民館(物置)	軽量鉄骨造	1957	24	64	未実施	未実施	A	A	A	A
18	双民館(倉庫)	木造	1957	15	64	未実施	未実施	A	A	A	A
19	ニニウキャンプ場(炊事場)	木造	1985	15	36	不要	不要	A	A	A	A
20	ニニウキャンプ場(休憩所1)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
21	ニニウキャンプ場(休憩所2)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
22	ニニウキャンプ場(休憩所3)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
23	ニニウキャンプ場(休憩所4)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
24	ニニウキャンプ場(休憩所5)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
25	ニニウキャンプ場(休憩所6)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
26	ニニウキャンプ場(休憩所7)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
27	ニニウキャンプ場(休憩所8)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
28	ニニウキャンプ場(便所)	木造	1985	17	36	不要	不要	A	A	A	A
29	湯の沢温泉	木造	1978	22	43	不要	不要	A	A	A	A
30	湯の沢温泉(宿泊施設)	木造	1980	22	41	不要	不要	A	A	A	A
31	ミナ・トマム	コンクリートブロック造	2015	20	6	不要	不要	B	B	B	B

(2) 主要施設の役割

【物産館】

JR 占冠駅の横に設置された施設で、1階には休憩スペースと授乳室、2階には郷土資料室があり、休憩などに最適な施設となっております。

【ニニウキャンプ場】

ファミリーキャンパー向けのキャンプ場です。バンガローは全部で6棟あり、オートサイトは、テント・タープを張っても十分なスペースがあります。キャンピングカーは、ハイエースクラスまでは駐車可能です。他に、炊事場、トイレや一休みできるあずま屋が設置されています。

【湯の沢温泉】

温泉は肌触りの良い無色透明のお湯で、塩化物の冷鉱泉で冷え性などにも効果があります。豊かな自然の中にひっそりと佇む秘境の宿です。夜空に広がる満点の星や、四季折々の景色を楽しむことができます。周辺では季節を楽しむ様々なイベントが行われています。

【ミナ・トマム】

アイス・スナック・カップ麺、日用品や、ハンドメイド商品などを販売しています。また、陶芸クラブも行っています。コミュニティースペースも兼ねているので、お茶を飲んだり、冬は薪ストーブを囲んでまったり過ごすこともできます。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設 利用状況(人)	平均施設維持 管理コスト(千円)
6	パークゴルフ場管理棟	—	298
7	スキー場ロッジ	16,935	2,579
8	村民プール脱衣所	912	1,055
9	民芸加工授産所	—	403
10	物産館	38,257	3,946
11	双民館(研修棟)	377	1,492
12	双民館(交流室)	377	1,492
13	双民館(展示室)	377	1,492
14	双民館(宿泊所1)	377	1,492
15	双民館(宿泊所2)	377	1,492
16	双民館(宿泊所3)	377	1,492
17	双民館(物置)	377	1,492
18	双民館(倉庫)	377	1,492
19	ニニウキャンプ場(炊事場)	3,439	8,736
20	ニニウキャンプ場(休憩所1)	3,439	8,736
21	ニニウキャンプ場(休憩所2)	3,439	8,736
22	ニニウキャンプ場(休憩所3)	3,439	8,736
23	ニニウキャンプ場(休憩所4)	3,439	8,736
24	ニニウキャンプ場(休憩所5)	3,439	8,736
25	ニニウキャンプ場(休憩所6)	3,439	8,736
26	ニニウキャンプ場(休憩所7)	3,439	8,736
27	ニニウキャンプ場(休憩所8)	3,439	8,736
28	ニニウキャンプ場(便所)	3,439	8,736
29	湯の沢温泉	9,657	21,790
30	湯の沢温泉(宿泊施設)	1,407	78
31	ミナ・トマム	3,289	2,135

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格 (千円)	再取得単価 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
6	パークゴルフ場管理棟	2026	1,995	360	7,560	200	4,200
7	スキー場ロッジ	2018	5,605	360	21,240	200	11,800
8	村民プール脱衣所	1992	5,700	360	21,600	200	12,000
9	民芸加工授産所	2011	18,314	360	69,401	200	38,556
10	物産館	2001	71,569	360	271,210	200	150,672
11	双民館(研修棟)	1995	47,655	360	127,080	200	70,600
12	双民館(交流室)	2004	24,570	360	65,520	200	36,400
13	双民館(展示室)	2007	25,515	360	68,040	200	37,800
14	双民館(宿泊所1)	1979	5,940	360	23,760	200	13,200
15	双民館(宿泊所2)	1979	9,690	360	36,720	200	20,400
16	双民館(宿泊所3)	1979	5,890	360	22,320	200	12,400
17	双民館(物置)	1981	1,140	360	3,240	200	1,800
18	双民館(倉庫)	1972	540	360	6,840	200	3,800
19	ニニウキャンプ場(炊事場)	2000	2,770	360	10,498	200	5,832
20	ニニウキャンプ場(休憩所1)	2002	13,050	360	52,200	200	29,000
21	ニニウキャンプ場(休憩所2)	2002	4,770	360	19,080	200	10,600
22	ニニウキャンプ場(休憩所3)	2002	4,770	360	19,080	200	10,600
23	ニニウキャンプ場(休憩所4)	2002	4,770	360	19,080	200	10,600
24	ニニウキャンプ場(休憩所5)	2002	990	360	3,960	200	2,200
25	ニニウキャンプ場(休憩所6)	2002	990	360	3,960	200	2,200
26	ニニウキャンプ場(休憩所7)	2002	990	360	3,960	200	2,200
27	ニニウキャンプ場(休憩所8)	2002	990	360	3,960	200	2,200
28	ニニウキャンプ場(便所)	2002	2,280	360	8,640	200	4,800
29	湯の沢温泉	2000	56,481	360	214,034	200	118,908
30	湯の沢温泉(宿泊施設)	2002	49,780	360	188,957	200	104,976
31	ミナ・トナム	2035	1,404	360	83,398	200	46,332
合計			368,158		1,375,337		764,076

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
6	パークゴルフ場管理棟	維持	2002年度に取得し2026年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
7	スキー場ロッジ	維持	2003年度に取得し2018年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
8	村民プール脱衣所	維持	1970年度に取得し1992年度に更新時期を迎えています。外壁・内装に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
9	民芸加工授産所	維持	1973年度に取得し2011年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
10	物産館	維持	1982年度に取得し2001年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
11	双民館（研修棟）	維持	1957年度に取得し1995年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
12	双民館（交流室）	維持	1957年度に取得し2004年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
13	双民館（展示室）	維持	1957年度に取得し2007年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
14	双民館（宿泊所1）	維持	1957年度に取得し1979年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
15	双民館（宿泊所2）	維持	1957年度に取得し1979年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
16	双民館（宿泊所3）	維持	1957年度に取得し1979年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
17	双民館（物置）	維持	1957年度に取得し1981年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
18	双民館（倉庫）	維持	1957年度に取得し1972年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
19	ニウキャンプ場（炊事場）	譲渡	1985年度に取得し2000年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
20	ニウキャンプ場（休憩所1）	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
21	ニウキャンプ場（休憩所2）	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
22	ニウキャンプ場（休憩所3）	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
23	ニウキャンプ場（休憩所4）	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
24	ニウキャンプ場（休憩所5）	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
25	ニウキャンプ場（休憩所6）	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
26	ニノウキャンプ場 (休憩所7)	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
27	ニノウキャンプ場 (休憩所8)	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
28	ニノウキャンプ場 (便所)	譲渡	1985年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
29	湯の沢温泉	維持	1978年度に取得し2000年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
30	湯の沢温泉(宿泊施設)	維持	1980年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
31	ミナ・トマム	維持	屋根塗装 2015年度に取得し2035年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、今後5年以内に屋根塗装を行う予定です。				

5. 産業系施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
32	ジビエ工房 森の恵み	木造	2011	15	10	不要	不要	A	A	A	A

(2) 主要施設の役割

【ジビエ工房 森の恵み】

ジビエ工房には森のかりうどという会社が入っており、主に鹿の解体・鹿肉の販売などを行っています。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
32	ジビエ工房 森の恵み	3,290	2,100

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格(千円)	再取得単価(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
32	ジビエ工房 森の恵み	2026	15,000	400	60,400	250	37,750
合計			15,000		60,400		37,750

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
32	ジビエ工房 森の恵み	維持	2011年度に取得し2026年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				

6. 子育て支援施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
33	占冠保育所	木造	2019	22	2	不要	不要	A	A	A	A
34	トママ保育所	鉄骨造	1993	34	28	不要	不要	B	B	B	B

(2) 主要施設の役割

【占冠保育所】

アカエゾマツ・シナ・タモなどの占冠村産木材を使用しています。室内は陽光が入りやすい設計で、明るさが感じられます。広場は木のぬくもりに包まれたやさしい空間になっています。

【トママ保育所】

1993年に取得した施設で、園庭が広く、毎年7名前後の園児に利用されています。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
33	占冠保育所	19	2,218
34	トママ保育所	7	1,437

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格(千円)	再取得単価(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
33	占冠保育所	2041	32,805	330	205,234	170	105,726
34	トママ保育所	2027	33,277	330	137,267	170	70,713
合計			66,082		342,500		176,440

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
33	占冠保育所	維持	2019年度に取得し2041年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
34	トママ保育所	維持	改修工事				
			1993年度に取得し2027年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、2021年度に改修工事と劣化部分の修繕を行います。				

7. 保健・福祉施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
35	占冠村保健福祉センター(ノンノ)	鉄筋コンクリート造	2002	50	19	不要	不要	A	B	A	A
36	占冠村小規模多機能型居宅介護施設(とま〜る)	鉄筋コンクリート造	2015	50	6	不要	不要	A	A	A	A

(2) 主要施設の役割

【占冠村保健福祉センター(ノンノ)】

保健福祉ニーズに応じた各種事業、保健福祉の増進、保健福祉意識の高揚を図ることなどを目的に幅広く利用できる施設です。

【占冠村小規模多機能型居宅介護施設(とま〜る)】

「通い」を中心に、ご利用者の心身の状況や希望に応じて、「訪問」、「宿泊」といったサービスを組み合わせることで24時間、365日、必要な支援をしています。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
35	占冠村保健福祉センター(ノンノ)	1,512	3,377
36	占冠村小規模多機能型居宅介護施設(とま〜る)	4,357	2,928

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格(千円)	再取得単価(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
35	占冠村保健福祉センター(ノンノ)	2052	110,520	360	221,040	200	122,800
36	占冠村小規模多機能型居宅介護施設(とま〜る)	2065	231,552	360	432,000	200	240,000
合計			342,072		653,040		362,800

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
35	占冠村保健福祉センター(ノンノ)	維持	屋根修繕				
			2002年度に取得し2052年度に更新時期を迎えます。屋根に若干老朽化が見られ、201~2025年度の間に屋根修繕を予定しています。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
36	占冠村小規模多機能型居宅介護施設(とま〜る)	維持	2015年度に取得し2041年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				

8. 医療施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
37	村立占冠診療所	鉄骨造	2008	34	13	不要	不要	A	B	A	A
38	村立トマム診療所	木造	1990	22	31	不要	不要	A	B	A	A
39	占冠歯科診療所	鉄骨造	1988	29	33	不要	不要	A	B	A	A
40	トマム歯科診療所	鉄筋コンクリート造	2003	39	18	不要	不要	A	B	B	B
41	村立占冠診療所医師住宅	木造	2008	22	13	不要	不要	A	A	A	A
42	村立トマム診療所医師住宅	木造	1990	22	31	不要	不要	A	B	B	B

(2) 主要施設の役割

【村立診療所・歯科診療所】

村内には診療所2か所と歯科診療所2か所あり、それぞれ地域の医療を担っています。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
37	村立占冠診療所	2,514	1,593
38	村立トマム診療所	710	1,610
39	占冠歯科診療所	1,605	1,206
40	トマム歯科診療所	244	436
41	村立占冠診療所医師住宅	365	0
42	村立トマム診療所医師住宅	365	0

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格(千円)	再取得単価(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
37	村立占冠診療所	2042	30,011	400	133,380	250	83,363
38	村立トマム診療所	2012	33,930	400	151,176	250	94,485
39	占冠歯科診療所	2017	17,460	400	68,368	250	42,730
40	トマム歯科診療所	2042	15,383	400	38,800	250	24,250
41	村立占冠診療所医師住宅	2030	7,290	400	29,160	250	18,225
42	村立トマム診療所医師住宅	2012	7,700	400	30,800	250	19,250
合計			111,774		451,684		282,303

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
37	村立占冠診療所	維持			屋根塗装		
			2008年度に取得し2042年度に更新時期を迎えます。屋根に若干老朽化が見られ、2021～2025年度の間に屋根修繕を予定しています。				
38	村立トマム診療所	維持			屋根塗装・外壁修繕		
			1990年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。屋根・外壁に若干老朽化が見られ、2021～2025年度の間に屋根塗装と外壁修繕を予定しています。				
39	占冠歯科診療所	維持					屋根修繕
			1988年度に取得し2017年度に更新時期を迎えています。屋根に若干老朽化が見られ、2025年度に屋根修繕を予定しています。				
40	トマム歯科診療所	維持					
			2003年度に取得し2042年度に更新時期を迎えます。屋根、外壁、内装に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
41	村立占冠診療所 医師住宅	維持					
			2008年度に取得し2030年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
42	村立トマム診療所 医師住宅	維持					
			1990年度に取得し2021年度に更新時期を迎えています。屋根、外壁、内装に若干老朽化が見られ、2027年度に外壁修繕を予定しています。				

9. 行政系施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
43	総合センター	鉄骨鉄筋コンクリート造	1971	50	50	未実施	未実施	A	A	A	A
44	役場トマム支所	コンクリートブロック造	1987	41	34	不要	不要	A	B	B	A
45	トマムコミュニティセンター	コンクリートブロック造	1987	41	34	不要	不要	A	B	B	A
46	生活情報センターホール	鉄骨造	1995	38	26	不要	不要	A	B	C	A
47	富良野広域連合富良野消防署占冠支署	鉄骨鉄筋コンクリート造	1991	50	30	不要	不要	A	A	B	A

(2) 主要施設の役割

【総合センター】

地方公共団体が行政サービスを提供するための機能を有する中心に位置づけられる建物です。また、災害時などには対策本部を設置することになるなど、地方自治において必要な施設です。

【トマムコミュニティセンター】

トマムコミュニティセンターは、会議や研修、各種活動の場として開放されています。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
43	総合センター	—	20,095
44	役場トマム支所	2,475	1,631
45	トマムコミュニティセンター	2,916	3,103
46	生活情報センターホール	439,066	17,695
47	富良野広域連合富良野消防署占冠支署	182	2,368

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格(千円)	再取得単価(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
43	総合センター	2021	332,410	400	565,804	250	353,628
44	役場トマム支所	2028	16,972	400	56,632	250	35,395
45	トマムコミュニティセンター	2028	134,713	400	468,568	250	292,855
46	生活情報センターホール	2033	82,530	400	366,800	250	229,250
47	富良野広域連合富良野消防署占冠支署	2041	—	400	449,210	250	280,756
合計			566,625		1,907,014		2,384,758

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
43	総合センター	維持	屋根・外壁補修及びトイレ口会議室改修工事				
			1971年度に取得し2021年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
44	役場トナム支所	維持	屋根・外壁補修工事				
			1987年度に取得し2028年度に更新時期を迎えます。屋根・外壁に若干老朽化が見られ、今後5年以内に屋根と外壁補修工事を予定しています。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
45	トナムコミュニティセンター	維持	屋根・外壁補修工事				
			1987年度に取得し2028年度に更新時期を迎えます。屋根・外壁に若干老朽化が見られ、今後5年以内に屋根と外壁補修工事を予定しています。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
46	生活情報センターホール	維持					
			2003年度に取得し2041年度に更新時期を迎えます。屋根・外壁に老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
47	富良野広域連合富良野消防署占冠支署	維持					
			1991年度に取得し2041年度に更新時期を迎えます。外壁に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				

10. 公営住宅等の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
48	川添団地(NO.5~8)	ブロック造	1974	38	47	未実施	未実施	B	B	B	B
49	川添団地(NO.9~12)	ブロック造	1975	38	46	未実施	未実施	B	B	B	B
50	川添団地(NO.13~16)	ブロック造	1975	38	46	未実施	未実施	B	B	B	B
51	川添団地(NO.17~20)	ブロック造	1976	38	45	未実施	未実施	B	B	B	B
52	川添団地(NO.21~24)	ブロック造	1976	38	45	未実施	未実施	B	B	B	B
53	川添団地(NO.25~26)	ブロック造	1979	38	42	未実施	未実施	B	B	B	B
54	川添団地(NO.27~28)	ブロック造	1980	38	41	未実施	未実施	B	B	B	B
55	川添団地(NO.29~30)	ブロック造	1984	38	37	不要	不要	B	B	B	B
56	川添団地(NO.31~32)	ブロック造	1985	38	36	不要	不要	B	B	B	B
57	宮下B団地(NO.1~4)	ブロック造	1971	38	50	未実施	未実施	B	B	B	B
58	宮下B団地(NO.5~8)	ブロック造	1971	38	50	未実施	未実施	B	B	B	B
59	千歳団地(NO.1~4)	PC板造	1985	38	36	不要	不要	A	A	A	A
60	千歳団地(NO.5~6)	PC板造	1986	38	35	不要	不要	A	A	A	A
61	千歳団地(NO.7~8)	PC板造	1986	38	35	不要	不要	A	A	A	A
62	第2千歳団地(NO.1~4)	鉄骨鉄筋コンクリート造	1980	47	41	未実施	未実施	B	B	B	B
63	第2千歳団地(NO.5~8)	鉄骨鉄筋コンクリート造	1980	47	41	未実施	未実施	B	B	B	B
64	第2千歳団地(NO.9~12)	鉄骨鉄筋コンクリート造	1980	47	41	未実施	未実施	B	B	B	B
65	第2千歳団地(NO.13~16)	鉄骨鉄筋コンクリート造	1980	47	41	未実施	未実施	B	B	B	B
66	第2美園団地(NO.1~2)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
67	第2美園団地(NO.3~4)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
68	第2美園団地(NO.5~6)	木造	1990	22	31	不要	不要	A	A	A	A
69	第2美園団地(NO.7~8)	木造	1990	22	31	不要	不要	A	A	A	A
70	第2美園団地(NO.9~10)	木造	1991	22	30	不要	不要	A	A	A	A
71	第2美園団地(NO.11~12)	木造	1991	22	30	不要	不要	A	A	A	A
72	第2美園団地(NO.13~14)	木造	1992	22	29	不要	不要	A	A	A	A
73	第2美園団地(NO.15~16)	木造	1992	22	29	不要	不要	A	A	A	A
74	占冠団地(NO.9~12)	ブロック造	1978	38	43	不要	不要	B	B	B	B
75	占冠団地(NO.13~14)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
76	占冠団地(NO.15~16)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
77	占冠団地(NO.17~18)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
78	占冠団地(NO.19~20)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
79	湯の沢団地(NO.1~2)	ブロック造	1979	38	42	未実施	未実施	B	B	B	B
80	湯の沢団地(NO.3~4)	ブロック造	1979	38	42	未実施	未実施	B	B	B	B
81	トマム団地(NO.1~4)(村有住宅)	ブロック造	1983	38	38	不要	不要	B	B	B	B
82	トマム団地(NO.5~8)	ブロック造	1983	38	38	不要	不要	B	B	B	B
83	トマム団地(NO.9~12)	ブロック造	1984	38	37	不要	不要	B	B	B	B
84	トマム団地(NO.13~16)	ブロック造	1984	38	37	不要	不要	B	B	B	B
85	第2トマム団地(NO.1~4)	木造	1985	22	36	不要	不要	B	B	B	B
86	第2トマム団地(NO.5~8)(村有住宅)	木造	1985	22	36	不要	不要	B	B	B	A
87	第2トマム団地(NO.9~10)	木造	1985	34	36	不要	不要	B	B	B	A
88	第2トマム団地(NO.11~12)	ブロック造	1986	38	35	不要	不要	B	B	B	A
89	第2トマム団地(NO.13~14)	ブロック造	1986	38	35	不要	不要	A	A	A	A
90	第2トマム団地(NO.15~16)	ブロック造	1986	38	35	不要	不要	A	A	A	A
91	第2トマム団地(NO.17~18)	ブロック造	1986	38	35	不要	不要	A	A	A	A
92	第2トマム団地(NO.19~20)	ブロック造	1986	38	35	不要	不要	A	A	A	A
93	第2トマム団地(NO.21~22)	木造	1987	22	34	不要	不要	A	A	A	A
94	第2トマム団地(NO.23~24)	木造	1987	22	34	不要	不要	A	A	A	A
95	第2トマム団地(NO.25~26)	木造	1987	22	34	不要	不要	A	A	A	A
96	第2トマム団地(NO.27~28)	木造	1987	22	34	不要	不要	A	A	A	A
97	第2トマム団地(NO.29~30)	木造	1988	22	33	不要	不要	A	A	A	A
98	第2トマム団地(NO.31~32)	木造	1988	22	33	不要	不要	A	A	A	A
99	第2トマム団地(NO.33~34)	木造	1988	22	33	不要	不要	A	A	A	A
100	第2トマム団地(NO.35~36)	木造	1988	22	33	不要	不要	A	A	A	A
101	第2トマム団地(NO.37~40)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
102	第2トマム団地(NO.41~44)	木造	1989	22	32	不要	不要	A	A	A	A
103	第2トマム団地(NO.45~46)	木造	1990	22	31	不要	不要	A	A	A	A
104	第2トマム団地(NO.47~48)	木造	1990	22	31	不要	不要	A	A	A	A
105	第2トマム団地(NO.49~50)	木造	1990	22	31	不要	不要	A	A	A	A

No.	施設名称	構造	取得 年度	耐用 年数	経過 年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
106	第2トマム団地(NO.51~52)	木造	1990	22	31	不要	不要	A	A	A	A
107	第3トマム団地(NO.1~4)	鉄筋コンクリート造	1991	47	30	不要	不要	A	A	A	A
108	第3トマム団地(NO.5~8)	コンクリートブロック造	1992	38	29	不要	不要	A	A	A	A
109	中央団地A棟(NO.1~6)	鉄筋コンクリート造	1990	47	31	不要	不要	A	B	B	A
110	中央団地B・C棟(NO.7~18)	鉄筋コンクリート造	1991	47	30	不要	不要	A	B	B	A
111	中央団地D・E棟(NO.19~30)	鉄筋コンクリート造	1992	47	29	不要	不要	A	B	B	A
112	第2中央団地(NO.1~8)	コンクリートブロック造	1993	38	28	不要	不要	A	A	A	A
113	第2中央団地(物置)	木造	1993	22	28	不要	不要	A	A	A	A
114	第2中央団地(物置)	木造	1993	22	28	不要	不要	A	A	A	A
115	占冠団地倉庫(NO.9~12)	軽量鉄骨造	1978	24	43	未実施	未実施	B	B	B	B
116	車庫(ガレージ)	鉄骨造	2012	31	9	不要	不要	A	A	A	A
117	地域振興住宅楓A棟	鉄筋コンクリート造	1991	50	30	不要	不要	B	B	B	A

(2) 主要施設の役割

【村営住宅】

占冠村にお住まいの方、村外から移住される方で、収入条件を満たした方を対象に村営住宅を利用することができます。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設 利用状況(人)	平均施設維持 管理コスト(千円)
48	川添団地(NO.5~8)	—	581
49	川添団地(NO.9~12)	—	239
50	川添団地(NO.13~16)	—	759
51	川添団地(NO.17~20)	—	239
52	川添団地(NO.21~24)	—	287
53	川添団地(NO.25~26)	—	147
54	川添団地(NO.27~28)	—	123
55	川添団地(NO.29~30)	—	187
56	川添団地(NO.31~32)	—	270
57	宮下B団地(NO.1~4)	—	37
58	宮下B団地(NO.5~8)	—	13
59	千歳団地(NO.1~4)	—	213
60	千歳団地(NO.5~6)	—	86
61	千歳団地(NO.7~8)	—	270
62	第2千歳団地(NO.1~4)	—	256
63	第2千歳団地(NO.5~8)	—	202
64	第2千歳団地(NO.9~12)	—	368
65	第2千歳団地(NO.13~16)	—	184
66	第2美園団地(NO.1~2)	—	303
67	第2美園団地(NO.3~4)	—	189
68	第2美園団地(NO.5~6)	—	159
69	第2美園団地(NO.7~8)	—	270
70	第2美園団地(NO.9~10)	—	78
71	第2美園団地(NO.11~12)	—	43
72	第2美園団地(NO.13~14)	—	340
73	第2美園団地(NO.15~16)	—	216
74	占冠団地(NO.9~12)	—	351
75	占冠団地(NO.13~14)	—	278

No.	施設名称	平均施設 利用状況(人)	平均施設維持 管理コスト(千円)
76	占冠団地(NO.15~16)	—	115
77	占冠団地(NO.17~18)	—	180
78	占冠団地(NO.19~20)	—	169
79	湯の沢団地(NO.1~2)	—	374
80	湯の沢団地(NO.3~4)	—	245
81	トマム団地(NO.1~4)(村有住宅)	—	349
82	トマム団地(NO.5~8)	—	349
83	トマム団地(NO.9~12)	—	496
84	トマム団地(NO.13~16)	—	457
85	第2トマム団地(NO.1~4)	—	263
86	第2トマム団地(NO.5~8)(村有住宅)	—	969
87	第2トマム団地(NO.9~10)	—	119
88	第2トマム団地(NO.11~12)	—	1,032
89	第2トマム団地(NO.13~14)	—	283
90	第2トマム団地(NO.15~16)	—	151
91	第2トマム団地(NO.17~18)	—	243
92	第2トマム団地(NO.19~20)	—	330
93	第2トマム団地(NO.21~22)	—	273
94	第2トマム団地(NO.23~24)	—	191
95	第2トマム団地(NO.25~26)	—	66
96	第2トマム団地(NO.27~28)	—	147
97	第2トマム団地(NO.29~30)	—	320
98	第2トマム団地(NO.31~32)	—	238
99	第2トマム団地(NO.33~34)	—	98
100	第2トマム団地(NO.35~36)	—	290
101	第2トマム団地(NO.37~40)	—	471
102	第2トマム団地(NO.41~44)	—	308
103	第2トマム団地(NO.45~46)	—	188
104	第2トマム団地(NO.47~48)	—	231
105	第2トマム団地(NO.49~50)	—	151
106	第2トマム団地(NO.51~52)	—	86
107	第3トマム団地(NO.1~4)	—	364
108	第3トマム団地(NO.5~8)	—	219
109	中央団地A棟(NO.1~6)	—	925
110	中央団地B・C棟(NO.7~18)	—	1,252
111	中央団地D・E棟(NO.19~30)	—	1,627
112	第2中央団地(NO.1~8)	—	805
113	第2中央団地(物置)	—	143
114	第2中央団地(物置)	—	143
115	占冠団地倉庫(NO.9~12)	—	0
116	車庫(ガレージ)	—	0
117	地域振興住宅楓A棟	—	8,932

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格 (千円)	再取得単価 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
48	川添団地 (NO.5~8)	2012	19,387	280	51,699	170	31,389
49	川添団地 (NO.9~12)	2013	20,256	280	54,015	170	32,795
50	川添団地 (NO.13~16)	2013	20,256	280	54,015	170	32,795
51	川添団地 (NO.17~20)	2014	21,546	280	57,456	170	34,884
52	川添団地 (NO.21~24)	2014	23,163	280	61,768	170	37,502
53	川添団地 (NO.25~26)	2017	12,411	280	33,096	170	20,094
54	川添団地 (NO.27~28)	2018	13,228	280	35,274	170	21,417
55	川添団地 (NO.29~30)	2022	13,377	280	35,672	170	21,658
56	川添団地 (NO.31~32)	2023	13,377	280	35,672	170	21,658
57	宮下B団地 (NO.1~4)	2009	17,434	280	46,491	170	28,227
58	宮下B団地 (NO.5~8)	2009	17,434	280	46,491	170	28,227
59	千歳団地 (NO.1~4)	2023	25,480	280	71,344	170	43,316
60	千歳団地 (NO.5~6)	2024	12,880	280	36,064	170	21,896
61	千歳団地 (NO.7~8)	2024	12,880	280	36,064	170	21,896
62	第2千歳団地 (NO.1~4)	2027	47,045	280	84,784	170	51,476
63	第2千歳団地 (NO.5~8)	2027	47,045	280	84,784	170	51,476
64	第2千歳団地 (NO.9~12)	2027	47,045	280	84,784	170	51,476
65	第2千歳団地 (NO.13~16)	2027	47,045	280	84,784	170	51,476
66	第2美園団地 (NO.1~2)	2011	14,014	280	39,239	170	23,824
67	第2美園団地 (NO.3~4)	2011	13,366	280	37,425	170	22,722
68	第2美園団地 (NO.5~6)	2012	14,028	280	39,278	170	23,848
69	第2美園団地 (NO.7~8)	2012	13,380	280	37,464	170	22,746
70	第2美園団地 (NO.9~10)	2013	14,026	280	37,458	170	22,743
71	第2美園団地 (NO.11~12)	2013	13,378	280	37,458	170	22,743
72	第2美園団地 (NO.13~14)	2014	14,026	280	39,273	170	23,844
73	第2美園団地 (NO.15~16)	2014	13,378	280	37,458	170	22,743
74	占冠団地 (NO.9~12)	2016	23,839	280	63,571	170	38,597
75	占冠団地 (NO.13~14)	2040	14,014	280	39,239	170	23,824
76	占冠団地 (NO.15~16)	2040	13,528	280	37,878	170	22,998
77	占冠団地 (NO.17~18)	2040	13,528	280	37,878	170	22,998
78	占冠団地 (NO.19~20)	2040	14,014	280	37,878	170	22,998
79	湯の沢団地 (NO.1~2)	2017	12,411	280	33,096	170	20,094
80	湯の沢団地 (NO.3~4)	2017	12,411	280	33,096	170	20,094
81	トマム団地 (NO.1~4) (村有住宅)	2021	26,754	280	71,344	170	43,316
82	トマム団地 (NO.5~8)	2021	26,754	280	71,344	170	43,316
83	トマム団地 (NO.9~12)	2022	26,754	280	71,344	170	43,316
84	トマム団地 (NO.13~16)	2022	26,754	280	71,344	170	43,316
85	第2トマム団地 (NO.1~4)	2007	25,480	280	71,344	170	43,316
86	第2トマム団地 (NO.5~8) (村有住宅)	2007	25,480	280	71,344	170	43,316
87	第2トマム団地 (NO.9~10)	2019	12,740	280	35,672	170	21,658
88	第2トマム団地 (NO.11~12)	2024	13,377	280	35,672	170	21,658
89	第2トマム団地 (NO.13~14)	2024	13,524	280	36,064	170	21,896
90	第2トマム団地 (NO.15~16)	2024	13,524	280	36,064	170	21,896
91	第2トマム団地 (NO.17~18)	2024	14,034	280	37,425	170	22,722
92	第2トマム団地 (NO.19~20)	2024	14,034	280	37,425	170	22,722
93	第2トマム団地 (NO.21~22)	2009	13,366	280	37,425	170	22,722
94	第2トマム団地 (NO.23~24)	2009	13,366	280	37,425	170	22,722
95	第2トマム団地 (NO.25~26)	2009	12,880	280	36,064	170	21,896
96	第2トマム団地 (NO.27~28)	2009	12,880	280	36,064	170	21,896
97	第2トマム団地 (NO.29~30)	2010	14,014	280	39,239	170	23,824
98	第2トマム団地 (NO.31~32)	2010	14,014	280	39,239	170	23,824
99	第2トマム団地 (NO.33~34)	2010	13,528	280	37,878	170	22,998
100	第2トマム団地 (NO.35~36)	2010	13,528	280	37,878	170	22,998
101	第2トマム団地 (NO.37~40)	2011	31,432	280	88,010	170	53,434
102	第2トマム団地 (NO.41~44)	2011	30,460	280	85,288	170	51,782
103	第2トマム団地 (NO.45~46)	2012	14,028	280	39,278	170	23,848
104	第2トマム団地 (NO.47~48)	2012	14,028	280	39,278	170	23,848
105	第2トマム団地 (NO.49~50)	2012	13,380	280	37,464	170	22,746
106	第2トマム団地 (NO.51~52)	2012	13,380	280	37,464	170	22,746
107	第3トマム団地 (NO.1~4)	2038	42,743	280	77,213	170	46,879
108	第3トマム団地 (NO.5~8)	2030	31,189	280	83,171	170	50,497

No.	施設名称	更新年度	取得価格 (千円)	再取得単価 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
109	中央団地A棟(NO.1~6)	2037	86,791	280	156,783	170	95,190
110	中央団地B・C棟(NO.7~18)	2038	169,291	280	305,816	170	185,674
111	中央団地D・E棟(NO.19~30)	2039	169,917	280	306,947	170	186,361
112	第2中央団地(NO.1~8)	2031	63,437	280	169,165	170	102,707
113	第2中央団地(物置)	2015	540	280	2,520	170	1,530
114	第2中央団地(物置)	2015	540	280	2,520	170	1,530
115	占冠団地倉庫(NO.9~12)	2002	1,080	280	5,040	170	3,060
116	車庫(ガレージ)	2043	960	280	4,480	170	2,720
117	地域振興住宅楓A棟	2041	871,636	280	512,848	170	311,372
合計			2,546,247		4,482,834		2,721,720

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
48	川添団地 (NO.5~8)	建替					
			1974年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2029年度に廃止し、2028年度に移転建て替えを予定しています。				
49	川添団地 (NO.9~12)	建替					
			1975年度に取得し2013年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2030年度に廃止し、2029年度に移転建て替えを予定しています。				
50	川添団地 (NO.13~16)	建替					
			1975年度に取得し2013年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2031年度に廃止し、2030年度に移転建て替えを予定しています。				
51	川添団地 (NO.17~20)	建替					
			1976年度に取得し2014年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2032年度に廃止し、2030年度に移転建て替えを予定しています。				
52	川添団地 (NO.21~24)	廃止					
			1976年度に取得し2014年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2032年度に廃止を予定しています。				
53	川添団地 (NO.25~26)	建替					
			1979年度に取得し2017年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2035年度に廃止し、2033年度に建て替えを予定しています。				
54	川添団地 (NO.27~28)	建替					
			1980年度に取得し2018年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2035年度に廃止し、2033年度に建て替えを予定しています。				
55	川添団地 (NO.29~30)	建替					
			1984年度に取得し2022年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、2036年度に廃止し、2034年度に建て替えを予定しています。				
56	川添団地 (NO.31~32)	建替					
			1985年度に取得し2023年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、2036年度に廃止し、2034年度に建て替えを予定しています。				
57	宮下B団地 (NO.1~4)	廃止				廃止	
			1971年度に取得し2009年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2024年度に廃止予定です。				
58	宮下B団地 (NO.5~8)	廃止				廃止	
			1971年度に取得し2009年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2024年度に廃止予定です。				

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
59	千歳団地 (NO. 1~4)	長寿命化					
			1985年度に取得し2023年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2030年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
60	千歳団地 (NO. 5~6)	長寿命化					
			1986年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2031年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
61	千歳団地 (NO. 7~8)	長寿命化					
			1986年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2031年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
62	第2千歳団地 (NO. 1~4)	維持					
			1980年度に取得し2027年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
63	第2千歳団地 (NO. 5~8)	維持					
			1980年度に取得し2027年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
64	第2千歳団地 (NO. 9~12)	維持					
			1980年度に取得し2027年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
65	第2千歳団地 (NO. 13~16)	維持					
			1980年度に取得し2027年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
66	第2美園団地 (NO. 1~2)	長寿命化					
			1989年度に取得し2011年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2033年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
67	第2美園団地 (NO. 3~4)	長寿命化					
			1989年度に取得し2011年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2033年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
68	第2美園団地 (NO. 5~6)	長寿命化					
			1990年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2034年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
69	第2美園団地 (NO. 7~8)	長寿命化					
			1990年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2034年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
70	第2美園団地 (NO. 9~10)	長寿命化					
			1991年度に取得し2013年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2035年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
71	第2美園団地 (NO. 11~12)	長寿命化					
			1991年度に取得し2013年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2035年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
72	第2美園団地 (NO. 13~14)	長寿命化					
			1992年度に取得し2014年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2036年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
73	第2美園団地 (NO. 15~16)	長寿命化					
			1992年度に取得し2014年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2036年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
74	占冠団地 (NO. 9~12)	維持					
			1978年度に取得し2016年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
75	占冠団地 (NO.13~14)	長寿命化	1989年度に取得し、2018年度に長寿命化改修済みで、そこから耐用年数を計算すると2040年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。2033年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
76	占冠団地 (NO.15~16)	長寿命化	1989年度に取得し、2018年度に長寿命化改修済みで、そこから耐用年数を計算すると2040年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。2033年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
77	占冠団地 (NO.17~18)	長寿命化	1989年度に取得し、2018年度に長寿命化改修済みで、そこから耐用年数を計算すると2040年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。2033年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
78	占冠団地 (NO.19~20)	長寿命化	1989年度に取得し、2018年度に長寿命化改修済みで、そこから耐用年数を計算すると2040年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。2033年度に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
79	湯の沢団地 (NO.1~2)	廃止	1979年度に取得し2017年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2023年度以降に廃止する予定です。				
80	湯の沢団地 (NO.3~4)	廃止	1979年度に取得し2017年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2023年度以降に廃止する予定です。				
81	トマム団地 (NO.1~4) (村有住宅)	廃止	1983年度に取得し、2021年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、現在、村有住宅として活用しています。2033年度以降に廃止する予定です。				
82	トマム団地 (NO.5~8)	廃止	1983年度に取得し2021年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、2033年度以降に廃止する予定です。				
83	トマム団地 (NO.9~12)	廃止	1984年度に取得し2022年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、2033年度以降に廃止する予定です。				
84	トマム団地 (NO.13~16)	廃止	1984年度に取得し2022年度に更新時期を迎えます。全体的に若干老朽化が見られ、2033年度以降に廃止する予定です。				
85	第2トマム団地 (NO.1~4)	維持	1985年度に取得し2007年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
86	第2トマム団地 (NO.5~8) (村有住宅)	維持	1985年度に取得し2007年度に更新時期を迎えています。2017年12月より村有住宅として活用しています。躯体・屋根・外壁に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
87	第2トマム団地 (NO.9~10)	維持	1985年度に取得し2019年度に更新時期を迎えています。躯体・屋根・外壁に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
88	第2トマム団地 (NO.11~12)	維持	1986年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。躯体・屋根・外壁に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
89	第2トマム団地 (NO.13~14)	長寿命化	1986年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2029年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
90	第2トマム団地 (NO.15~16)	長寿命化	1986年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2029年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
91	第2トマム団地 (NO. 17~18)	長寿命化	1986年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2029年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
92	第2トマム団地 (NO. 19~20)	長寿命化	1986年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2029年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
93	第2トマム団地 (NO. 21~22)	長寿命化	1987年度に取得し2009年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2030年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
94	第2トマム団地 (NO. 23~24)	長寿命化	1987年度に取得し2009年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2030年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
95	第2トマム団地 (NO. 25~26)	長寿命化	1987年度に取得し2009年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2030年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
96	第2トマム団地 (NO. 27~28)	長寿命化	1987年度に取得し2009年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2030年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
97	第2トマム団地 (NO. 29~30)	長寿命化	1988年度に取得し2010年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2031年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
98	第2トマム団地 (NO. 31~32)	長寿命化	1988年度に取得し2010年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2031年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
99	第2トマム団地 (NO. 33~34)	長寿命化	1988年度に取得し2010年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2031年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
100	第2トマム団地 (NO. 35~36)	長寿命化	1988年度に取得し2010年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2031年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
101	第2トマム団地 (NO. 37~40)	維持	1989年度に取得し2011年度に更新時期を迎えています。2017年度に長寿命化を終了し、引き続き観察を続けていきます。				
102	第2トマム団地 (NO. 41~44)	維持	1989年度に取得し2011年度に更新時期を迎えています。2016年度に長寿命化を終了し、引き続き観察を続けていきます。				
103	第2トマム団地 (NO. 45~46)	長寿命化	1990年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2032年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
104	第2トマム団地 (NO. 47~48)	長寿命化	1990年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2032年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
105	第2トマム団地 (NO. 49~50)	長寿命化	1990年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2032年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
106	第2トマム団地 (NO. 51~52)	長寿命化	1990年度に取得し2012年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、2032年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
107	第3トマム団地 (NO.1~4)	長寿命化	1991年度に取得し2038年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2027年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
108	第3トマム団地 (NO.5~8)	長寿命化	1992年度に取得し2030年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2027年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
109	中央団地A棟 (NO.1~6)	長寿命化	1990年度に取得し2037年度に更新時期を迎えます。屋根・外壁に若干老朽化が見られ、2031年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
110	中央団地B・C棟 (NO.7~18)	長寿命化	1991年度に取得し2037年度に更新時期を迎えます。屋根・外壁に若干老朽化が見られ、2038年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
111	中央団地D・E棟 (NO.19~30)	長寿命化	1992年度に取得し2039年度に更新時期を迎えます。屋根・外壁に若干老朽化が見られ、2032年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
112	第2中央団地 (NO.1~8)	長寿命化	1993年度に取得し2031年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2025年度以降に長寿命化に向けて修繕を行う予定です。				
113	第2中央団地 (物置)	長寿命化	1993年度に取得し2015年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
114	第2中央団地 (物置)	長寿命化	1993年度に取得し2015年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
115	占冠団地倉庫 (NO.9~12)	廃止	1978年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。全体的に若干老朽化が見られ、2022年度以降に廃止する予定です。				
116	車庫(ガレージ)	維持	2012年度に取得し2043年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
117	地域振興住宅楓A棟	維持	1991年度に取得し2041年度に更新時期を迎えます。躯体・屋根・外壁に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				

11. 公園の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
118	農村公園公衆便所	鉄筋コンクリート造	1999	38	22	不要	不要	A	A	A	A

(2) 主要施設の役割

【農村公園便所】

公園に設置されたトイレです。近くには道の駅「自然体験しむかっぶ」があります。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
118	農村公園公衆便所	—	455

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格(千円)	再取得単価(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
118	農村公園公衆便所	2037	5,890	330	20,460	170	10,540
合計			5,890		20,460		10,540

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
118	農村公園公衆便所	維持	1999年度に取得し2037年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				

12. 供給処理施設の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
119	一般廃棄物最終処分場	鉄骨造	1993	31	28	不要	不要	A	A	A	A
120	中央浄化センター(下水道施設)	木造	1989	15	32	不要	不要	A	A	A	A
121	トナム浄化センター	木造	1997	15	24	不要	不要	A	A	A	A
122	双珠別浄水場	鉄筋コンクリート造	1996	38	25	不要	不要	A	A	A	A
123	占冠浄水場(水道施設1)	コンクリートブロック造	1966	34	55	未実施	未実施	A	A	A	A
124	占冠浄水場(水道施設2)	コンクリートブロック造	1993	34	28	不要	不要	A	A	A	A
125	占冠浄水場(水道施設3)	コンクリートブロック造	1993	34	28	不要	不要	A	A	A	A
126	上トナム地区浄水場(水道施設)	木造	1986	15	35	不要	不要	A	A	A	A
127	上トナム地区浄水場(揚水場1)	木造	1986	15	35	不要	不要	A	A	A	A
128	上トナム地区浄水場(揚水場2)	木造	1987	15	34	不要	不要	A	A	A	A

(2) 主要施設の役割

【一般廃棄物最終処分場】

リサイクル・リユース（再使用）されない廃棄物の最終処分（埋め立て処分）を行う場所（施設）です。

【浄化センター】

浄化センターでは、下水管を流れてきた汚水をきれいにして自然へ返します。

【浄化場】

浄水場は、河川から取り入れた水（原水）をきれいにし、安全でおいしく飲むことのできる水道水にする施設です。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
119	一般廃棄物最終処分場	208	1,175
120	中央浄化センター(下水道施設)	574	9,584
121	トナム浄化センター	250	9,508
122	双珠別浄水場	—	716
123	占冠浄水場(水道施設1)	—	1,441
124	占冠浄水場(水道施設2)	—	386
125	占冠浄水場(水道施設3)	—	80
126	上トナム地区浄水場(水道施設)	—	850
127	上トナム地区浄水場(揚水場1)	—	1,772
128	上トナム地区浄水場(揚水場2)	—	410

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格 (千円)	再取得単価 (千円/㎡)	再取得価格 (千円)	長寿命化単価 (千円/㎡)	長寿命化費用 (千円)
119	一般廃棄物最終処分場	2024	9,030	360	46,080	200	25,600
120	中央浄化センター(下水道施設)	2004	10,640	360	40,320	200	22,400
121	トナム浄化センター	2012	11,970	360	45,360	200	25,200
122	双珠別浄水場	2034	15,035	360	34,920	200	19,400
123	占冠浄水場(水道施設1)	2000	10,970	360	39,492	200	21,940
124	占冠浄水場(水道施設2)	2027	880	360	3,168	200	1,760
125	占冠浄水場(水道施設3)	2027	9,700	360	34,920	200	19,400
126	上トナム地区浄水場(水道施設)	2001	14,915	360	56,520	200	31,400
127	上トナム地区浄水場(揚水場1)	2001	4,560	360	17,280	200	9,600
128	上トナム地区浄水場(揚水場2)	2002	1,520	360	5,760	200	3,200
合計			89,220		323,820		179,900

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
119	一般廃棄物最終処分場	維持	一部更新、新設等				
			1993年度に取得し2024年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、2021年度に水処理施設更新、トラックスケール設置、堰堤高上げを行います。				
120	中央浄化センター (下水道施設)	維持					
			1989年度に取得し2004年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
121	トナム浄化センター	維持					
			1997年度に取得し2012年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
122	双珠別浄水場	維持					
			1996年度に取得し2034年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
123	占冠浄水場 (水道施設1)	維持					
			1966年度に取得し2000年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
124	占冠浄水場 (水道施設2)	維持					
			1993年度に取得し2027年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
125	占冠浄水場 (水道施設3)	維持					
			1993年度に取得し2027年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
126	上トナム地区浄水場 (水道施設)	維持					
			1986年度に取得し2001年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
127	上トナム地区浄水場 (揚水場1)	維持					
			1986年度に取得し2001年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
128	上トナム地区浄水場 (揚水場2)	維持					
			1987年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				

13. その他の方針

(1) 施設別状況

No.	施設名称	構造	取得年度	耐用年数	経過年数	耐震		劣化状況			
						診断	補強	躯体	屋根	外壁	内壁
129	火葬場	土蔵造	1970	22	51	未実施	未実施	A	A	A	A
130	テレビ中継局	鉄筋コンクリート造	1977	38	44	不要	不要	B	A	A	B
131	トマム給油所	鉄骨造	2016	31	5	不要	不要	A	A	A	A
132	旧横川商店	木造	2016	22	5	不要	不要	A	A	A	A
133	川添公衆便所	コンクリートブロック造	1986	34	35	不要	不要	A	A	A	C
134	上トマム公衆便所	木造	1985	15	36	不要	不要	A	A	C	C
135	総合自動車車庫(大)	鉄骨造	1971	31	50	未実施	未実施	C	B	C	A
136	総合自動車車庫(小)	軽量鉄骨造	1971	31	50	未実施	未実施	C	B	C	A

(2) 主要施設の役割

【火葬場】

施設には、火葬炉 1 基・炉前ホール 1 室・待合室 1 室・駐車場などが設置されています。通夜・告別式を行わない火葬式（直葬）についても可能となっております。

(3) 施設の利用状況及び管理運営に掛かる経費

No.	施設名称	平均施設利用状況(人)	平均施設維持管理コスト(千円)
129	火葬場	177	557
130	テレビ中継局	0	30,400
131	トマム給油所	1,706	8,416
132	旧横川商店	—	0
133	川添公衆便所	—	47
134	上トマム公衆便所	—	109
135	総合自動車車庫(大)	1,092	525
136	総合自動車車庫(小)	1,092	525

(4) 再取得・長寿命化コストの試算

No.	施設名称	更新年度	取得価格(千円)	再取得単価(千円/㎡)	再取得価格(千円)	長寿命化単価(千円/㎡)	長寿命化費用(千円)
129	火葬場	1992	6,650	360	25,200	200	14,000
130	テレビ中継局	2015	1,240	360	2,880	200	1,600
131	トマム給油所	2047	3,030	360	8,748	200	4,860
132	旧横川商店	2038	0	360	50,677	200	28,154
133	川添公衆便所	2020	800	360	2,880	200	1,600
134	上トマム公衆便所	2000	1,140	360	4,320	200	2,400
135	総合自動車車庫(大)	2002	13,440	360	80,640	200	44,800
136	総合自動車車庫(小)	2002	3,180	360	19,080	200	10,600
合計			29,480		194,425		108,014

(5) 施設の具体的な方向性・対策

No.	施設名称	施設方針	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
129	火葬場	維持	1970年度に取得し1992年度に更新時期を迎えています。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
130	テレビ中継局	維持	1977年度に取得し2015年度に更新時期を迎えています。躯体・内装に若干老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
131	トマム給油所	維持	2016年度に取得し2047年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
132	旧横川商店	維持	2016年度に取得し2038年度に更新時期を迎えます。施設に目立った老朽化は見られませんが、引き続き観察を続けていきます。				
133	川添公衆便所	維持	1986年度に取得し2020年度に更新時期を迎えています。内装に老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
134	上トマム公衆便所	維持	1985年度に取得し2000年度に更新時期を迎えています。外壁・内装に老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
135	総合自動車庫（大）	維持	1971年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。躯体・屋根・外壁に老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				
136	総合自動車庫（小）	維持	1971年度に取得し2002年度に更新時期を迎えています。躯体・屋根・外壁に老朽化が見られ、引き続き観察を続けていき対応策を検討していきます。				

1. 10年後に実現を目指す本村の姿

本計画の実施により、「占冠村公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針である「施設の特성에応じた、総合的かつ計画的な管理運営を推進することで、将来の更新費用の削減」を目指します。

●新規整備について

- ・新規建設の予定はないが、村の総合計画等各計画と合わせて建物建設を検討
- ・村民ニーズやライフサイクルコスト、管理手法等について検討
- ・他施設の機能移転・代替、民間施設の活用や他施設との複合化等を検討
- ・複合化等によって延床面積を減らしていくことを検討

●施設の更新（建て替え）について

- ・施設の統合・整理等を図り、施設の複合化などによって、住民サービスを維持しつつ、施設総量を縮減
- ・複合施設においては、管理・運営を一元化・効率化し、施設の複合化により空いた土地は、有効活用又は処分を促進
- ・施設更新の際に、森林資源の有効活用を目的として薪ボイラー、薪ストーブの導入を検討

●施設総量（総床面積）について

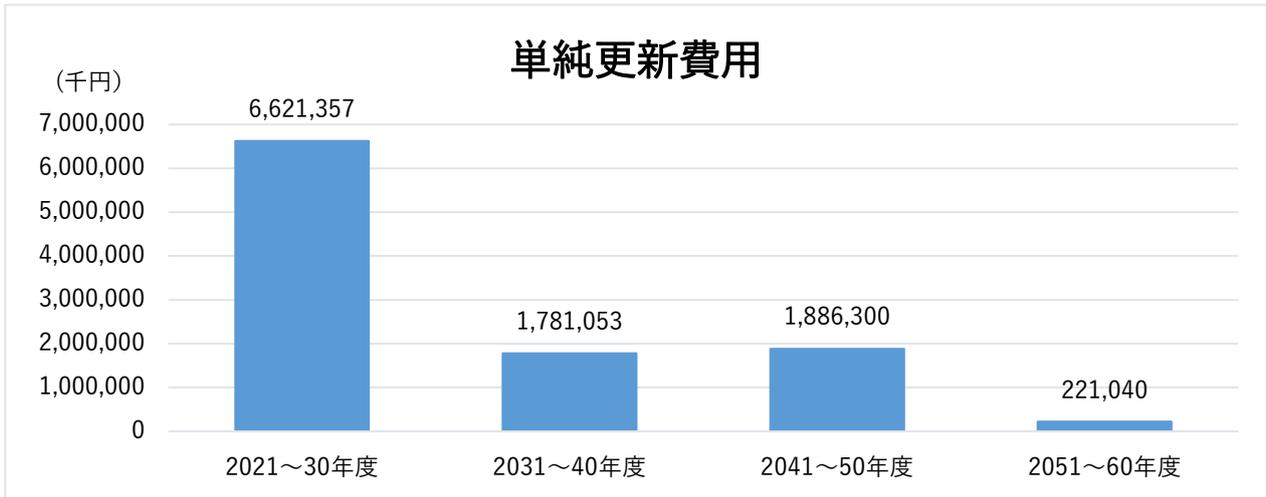
- ・機能移転が可能な施設や用途が重複している施設等については、住民サービスを考慮しながら統合や整理を検討
- ・稼働率の低い施設は運営改善を徹底し、それでもなお稼働率が低い場合は、統合や整理も検討

今後、本村では財源が限られる中で、いかに住民サービスの量や質を落とさずに施設を更新するかという大きな課題に取り組んでいきますが、財政が厳しいからこそ、知恵や工夫が必要で、それ次第では、これまで以上の住民サービスを確保することも可能と考えます。

また、人口減少は避けられない問題ですが、減少を食い止められないか、村の収入を増やすために官民連携できることはないか、といった観点で取り組んでいきます。

2. 個別施設計画の達成による財政効果

本計画の方針を実施した場合、今後40年間の財政効果は以下のとおりとなり、厳しい状況が予想されます。このことから、更なる施設の統廃合、複合施設化、再配置を検討する必要があります。
 ※維持、長寿命化の単価は大規模改修単価を採用し、検討中施設は建替単価、譲渡及び廃止を0円で計算



【単純更新費用】

(単位：千円)

	2021~30年度	2031~40年度	2041~50年度	2051~60年度	合計
村民文化系施設	540,636	56,000	533,600	0	1,130,236
スポーツ・レクリエーション系施設	1,291,939	83,398	0	0	1,375,337
産業系施設	60,400	0	0	0	60,400
子育て支援施設	137,267	0	205,234	0	342,500
保健・福祉施設	0	0	0	221,040	221,040
医療施設	279,504	0	172,180	0	451,684
行政系施設	1,091,004	366,800	449,210	0	1,907,014
公営住宅等	2,796,707	1,168,798	517,328	0	4,482,834
公園	0	20,460	0	0	20,460
供給処理施設	288,900	34,920	0	0	323,820
その他	135,000	50,677	8,748	0	194,425
合計	6,621,357	1,781,053	1,886,300	221,040	10,509,750



方針適用後の費用



【方針適用後の費用】

(単位：千円)

	2021~30年度	2031~40年度	2041~50年度	2051~60年度	合計	削減額
村民文化系施設	337,898	35,000	333,500	0	706,398	-423,839
スポーツ・レクリエーション系施設	637,512	46,332	0	0	683,844	-691,493
産業系施設	37,750	0	0	0	37,750	-22,650
子育て支援施設	70,713	0	105,726	0	176,440	-166,061
保健・福祉施設	0	0	0	122,800	122,800	-98,240
医療施設	174,690	0	107,613	0	282,303	-169,382
行政系施設	681,878	229,250	280,756	0	1,191,884	-715,130
公営住宅等	1,121,782	1,115,589	314,092	0	2,551,463	-1,931,370
公園	0	10,540	0	0	10,540	-9,920
供給処理施設	160,500	19,400	0	0	179,900	-143,920
その他	75,000	28,154	4,860	0	108,014	-86,411
合計	3,297,722	1,484,265	1,146,547	122,800	6,051,335	-4,458,415

3. 本計画の推進体制

(1) 推進方針

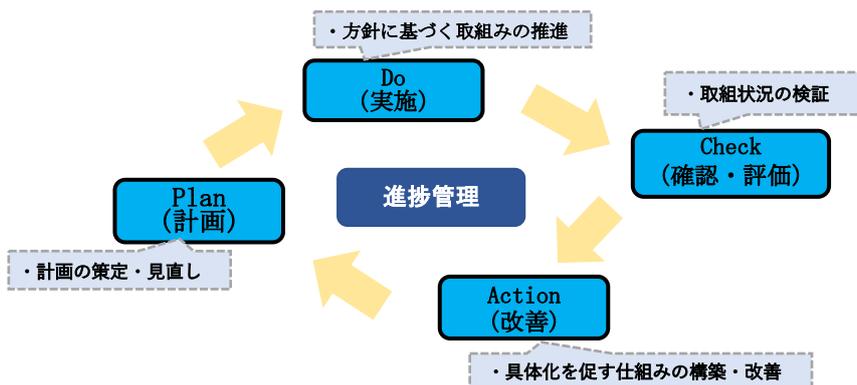
公共施設等の維持管理に関する庁内の横断的な体制の整備を検討します。特に予算編成部署との連携や、事業の優先度の判断に対応した予算配分を検討しながら、住民等利用者の理解を得るとともに、協働の推進体制を構築します。

さらに、新たな担い手の確保に向け、技術者の育成・確保に一定の能力を有する民間企業へのアウトソーシング、指定管理者制度のさらなる活用、PPPやPFIの導入に向けた調査、包括民間委託など、行政と民間が一体となって運営する方策を広く検討し、効率的で質の高いサービス提供を検討します。そのためにも、研修等を通じて職員一人ひとりの意識を向上させるとともに、施設点検や診断のための知識や技術の向上に努めます。

(2) 推進体制

公共施設等の維持管理に関し、定期的に検討・評価する場を設定することにより、情報共有を図りながら、計画の進捗状況の確認を行います。また、村全体での管理コストの低減、年度毎の管理費の平準化の視点で、管理方策や更新施設の優先順位等について検討するとともに、必要に応じて計画の見直しを行います。

本計画は、上位計画である総合管理計画と連携を図りながらも、村全体の予算とのバランスによっては、すぐに実施できない改修工事なども発生することが予測されます。よって必要な時期に必要な行動の事業化を促す仕組みを構築するため、PDCAのマネジメントサイクルに沿った進捗管理を行います。



占冠村 個別施設計画

令和3年3月作成

(令和5年3月改訂)

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央

【総務課】

TEL 0167-56-2121

FAX 0167-56-2184